

令和7年度（後期）

岡山県新規就農研修ガイドブック

-地域就農オリエンテーション・農業体験研修・農業実務研修-



晴れの国

岡山で農業

をやってみませんか？

岡山県・（公財）岡山県農林漁業担い手育成財団
（一社）岡山県農業会議・岡山県農業協同組合中央会
岡山県担い手育成総合支援協議会

目 次

1	はじめに	-----	1
2	新規就農研修生の募集について	-----	2
3	新規就農研修生の受入について	-----	3
4	岡山県内の地域・市町村、地域ごとの面接会	-----	4
5	新規就農研修生の就農までのスケジュール（モデル）	-----	5
6	地域就農オリエンテーション（現地見学会）の開催について	-----	6
7	地域就農オリエンテーション、農業体験研修面接会の日程について	-----	7
	岡山地域-- 8～11	東備地域--12～13	倉敷地域--14～15
	井笠地域--16～17	高梁地域--18～20	新見地域--22～25
	津山地域--26～28	真庭地域--30～33	勝英地域--34～37
【参考】	県立青少年農林文化センター三徳園について	-----	38
【参考】	令和7年度就農相談会等開催予定について	-----	39
【参考】	新規就農研修（農業体験研修）の心構え等について	-----	40

【新規就農研修・申請書類一式】

- ・新規就農研修事業（農業体験研修事業）申請書
- ・健康診断書
- ・岡山県新規就農研修（農業体験研修・農業実務研修）に係る注意事項確認書

【参考】「情報収集」は、農業を始めるための大切な一歩です（HP、LINE 公式案内）

1 はじめに

岡山県では、県内で新たに独立・自営で農業を始めたいという意欲ある方（就農希望者）を支援するため、約1か月間農業・農村生活を体験する「農業体験研修」と、2年以内で研修費を受給しながら実践的な研修を行う「農業実務研修」をセットにした「新規就農研修」を実施します。

就農希望者が農業を始めるためには、技術の習得だけでなく、農村での人づきあいや生活になじむこと、農地の確保、農産物の販売ルートの確保など多くのハードルがあります。このため、本県では、「産地」が中心となった新規就農研修の支援体制をつくり、市町村やJAなどの関係機関と連携し、就農希望者を強力にサポートしています。

このように、新規就農研修は産地でサポートを行うため、農業体験研修を実施した「産地」で農業実務研修も実施し、研修修了後はその「産地」に就農することを前提としていますので、申込み時に就農候補地及び品目の選定をしていただきます。

就農候補地の選定にあたっては、各地域で産地の見学や農家との意見交換、新規就農研修の受入体制の説明などを行う「地域就農オリエンテーション」を実施しますので、積極的に御参加ください。

産地や品目毎に受入体制、生活環境等が異なります。就農は、今後の皆さんの人生を左右する大きな決断になりますので、必ず現地の情報を十分に収集し、ご自身、ご家族が納得した上で農業体験研修にお申し込みください。

新規就農研修への申込には、①『研修を希望する産地等を管轄する県民局担当者又は市町村担当者と就農相談をしていること』と、②『研修を希望する産地の現地見学（地域就農オリエンテーションや個別見学等）をしていること』が必要です。

2 新規就農研修生の募集について（令和7年度新規就農研修生の後期募集要領）

（１）趣 旨

意欲あふれる新規就農者を確保するため、新規就農研修事業を活用して県内で独立・自営就農を目指す者を対象に、先進農家等の下で農業体験研修を受ける新規就農研修生を募集する。

（２）募集の概要

ア 対象者 次の①～③に全てに該当する者

①岡山県内で独立・自営就農を目指す者

②令和7年4月1日時点で55歳未満の者

③原則、農業生産基盤（農地、施設、機械等）を有さず、かつ相続により確保する見込みがない者

ただし、地域により就農予定時の年齢が50歳未満等、受講条件が多く複雑なため、必ず個別相談で事前に確認すること

イ 応募要件 申請前に、次の①～②を全て満たすこと

①研修を希望する産地等を管轄する県民局担当者又は市町村担当者と就農相談を実施し、個別に要件を確認すること

②研修を希望する産地等を管轄する県民局担当者又は市町村担当者等と現地見学を実施し、産地等と意見交換を行うこと

ウ 募集人数 30人程度

エ 募集地域等 令和7年度後期岡山県新規就農研修ガイドブック「3 新規就農研修の受入について」のとおり

（３）農業体験研修の概要

ア 対象者 受入地域の面接審査に合格した者

イ 研修期間 原則、1か月間程度（実施時期の目安は令和8年1月から7月頃）

ウ 研修内容 受入地域の先進農家等での農作業や農村生活等の体験

エ 研修費 不要（研修に係る交通費、傷害保険代等については各自で負担）

※研修修了者には、（公財）岡山県農林漁業担い手育成財団から5万円を支給

（４）申込手続

ア 提出書類 新規就農研修事業（農業体験研修事業）申請書

〔添付書類〕健康診断書、岡山県新規就農研修（農業体験研修・農業実務研修）に係る注意事項確認書

イ 申込期間 令和7年9月28日（日）から11月6日（木）まで（必着）

ウ 申込先 岡山県 農林水産部 農産課 担い手育成班

〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下2-4-6

（TEL086-226-7420）

エ その他 申請書等は、就農相談会等で配布するほか、就農ポータルサイト「晴れの国おかやまで農業をやってみませんか」からもダウンロード可能

（<https://www.okayama-ninaite.com/training/trainee/>）



（５）農業体験研修修了後

農業体験研修を修了し、県、市町村から研修計画（就農までの手順や就農初期の経営計画）の承認を受けた者は、就農に向けた栽培技術や経営について学ぶ2か年以内の農業実務研修を受けることができる。

3 新規就農研修生の受入について

県民局名	地域名 (普及名)	市町村名	事業主体	研修品目	受入地域	募集予定 人数 ^{注1}	年齢要件 ^{注2}	
備前	岡山 (備前広域)	岡山市	岡山市農業協同組合	もも	北区一宮地域	1	就農予定時 50歳未満	
				ぶどう	東区上道地域	1		
			有限会社スコレー	ぶどう	御津地域	2		
			丸草出荷組合	ぶどう	東区草ヶ部地域	1		
			(株)岡山フルーツ農園	いちご		1		
				ぶどう	東区西大寺地域	1		
		玉野市	岡山市農業協同組合	施設なす	七区	1	就農予定時 50歳未満	
			スイートピー	番田	1			
	瀬戸内市	岡山市農業協同組合	ぶどう	邑久町裳掛地区	1	就農予定時 50歳未満		
		瀬戸内市ミニトマト出荷組合	ミニトマト	邑久町尻海地区	1			
	吉備中央町	(公財)吉備中央農業公社	ぶどう(ピオーネ)	吉川	2	○		
	東備 (東備)	備前市	晴れの国岡山農業協同組合	ぶどう	東鶴山地区	1	就農予定時 50歳未満	
				軟弱野菜	西鶴山地区	1		
		赤磐市	晴れの国岡山農業協同組合	ぶどう	是里、山陽、赤坂	1	就農予定時 50歳未満	
				もも	山陽、赤坂	1		
		和気町	晴れの国岡山農業協同組合	ぶどう		2	就農予定時 50歳未満	
				夏秋なす	全域	1		
備中	倉敷 (備南広域)	倉敷市	(一財)倉敷市船穂農業公社	スイートピー	船穂地区	1	就農予定時 概ね50歳未 満	
				ぶどう(マスカット)		1		
			晴れの国岡山農業協同組合	もも	玉島北地区、浅原地区	1		
		総社市	晴れの国岡山農業協同組合	なす	福井地区	2	○	
				ぶどう	泰地区	2		
			(一財)そうじや地食べ公社	セルリー	山手地区	1		
	井笠 (井笠)	井原市	晴れの国岡山農業協同組合	ぶどう	井原地区・芳井地区・美星地区	3	○	
		矢掛町	晴れの国岡山農業協同組合	アスパラガス		1	○	
	農業生産組合水車の里農園		ぶどう	全域	1	○		
	高梁 (備北広域)	高梁市	晴れの国岡山農業協同組合	ぶどう	宇治、有漢、備中、中井、成羽、川上	2	○	
				夏秋トマト	備中、川上	2	○	
	新見 (新見)	新見市	晴れの国岡山農業協同組合	トマト	神郷高瀬地区他	1	実務研修開 始時60歳未 満※	
				ぶどう(ピオーネ)	豊永地区、草間地区	2		
				りんどう	哲西町矢田地区他	1		
美作	津山 (美作広域)	津山市	晴れの国岡山農業協同組合	水稻	全域	2	○	
				野菜複合(アスパラ、ショウガ等)	全域			
				ぶどう	津山、久米(全域)			
			(有)まほら	いちご、ぶどう	東部	1	○	
			(農)アグリ堀坂	水稻、小麦、野菜(アスパラ他)	東部	1	○	
			恵比寿農園(株)	ぶどう	北部	1	○	
			(一社)LAアライアンス	水稻・酪農・果樹	全域	1	○	
		鏡野町	晴れの国岡山農業協同組合	花き(りんどう)	北部	1	○	
				ピオーネ	南部	1	○	
				アスパラガス、なす	北部	1	○	
		久米南町	晴れの国岡山農業協同組合	ぶどう	山手地区	1	○	
				きゅうり	全域	1	○	
		美咲町	晴れの国岡山農業協同組合	ぶどう(ピオーネ、シャインマスカット他)	全域	2	○	
	真庭 (真庭)	真庭市	晴れの国岡山農業協同組合	夏秋トマト	湯原、蒜山	1	○	
				ぶどう	落合、久世、蒜山	2	○	
				ぶどう	北房	1	○	
				(株)日本植生(北房農場)	ぶどう	北房	1	○
				落合野菜・果物出荷組合	野菜複合(なす、ミニトマト、春菊、ホウレンソウ等)	落合、久世、湯原	1	就農予定時 50歳未満
		新庄村	(一社)新庄村農業公社	水稻(ヒノモチ)、白ネギ、キャベツ	全域	1	○	
	勝英 (勝英)	美作市	晴れの国岡山農業協同組合	ぶどう	美作	1	○	
			(農)赤田営農センター	水稻、大豆、そば等	大原	1	○	
			(有)美作農園	いちご、ぶどう	英田	1	○	
			(株)永谷園芸	花壇苗	大原	1	○	
			(株)洲崎園芸	花壇苗	大原	1	○	
		勝央町	晴れの国岡山農業協同組合	ぶどう	全域	2	○	
合計						68		

注1:上記内容は見込みであり、変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

注2:「年齢要件」は「原則、体験研修申請年度の4月1日時点で55歳未満の者」ですが、地域により年齢要件が異なります。

○は体験研修申請年度の4月1日時点で55歳未満の者を対象とします。

※は実務研修開始時55歳以上60歳未満の者を対象に市独自事業で研修を行います。

注3:研修開始時期については、受入地域により調整させていただくことがあります。

その他の受入要件については、市町村ガイドブックを参照いただき、詳細は管轄の県民局担当者又は市町村担当者にご確認ください。

4 岡山県内の地域・市町村、地域ごとの面接会



○農業体験研修面接会の実施日と会場（予定）

地域	開催日	場 所
岡山	11月25日（火）	備前県民局（岡山市北区弓之町6-1）
東備	11月26日（水）	備前県民局 東備地域事務所（和気町和気487-2）
倉敷	11月20日（木）	備中県民局（倉敷市羽島1083）
井笠	11月18日（火）	井原市役所（井原市井原町311-1） 矢掛町役場（矢掛町矢掛3018）
高梁	11月27日（木）	備中県民局 高梁地域事務所（高梁市落合町近似286-1）
新見	11月26日（水）	備中県民局 新見地域事務所（新見市高尾2400）
津山	11月25日（火）	美作県民局（津山市山下53）
真庭	11月21日（金）	未定
勝英	11月26日（水）	美作県民局 勝英地域事務所（美作市入田291-2）

5 新規就農研修生の就農までのスケジュール(モデル、後期)

締め切り・開催時期	内 容 等
農業体験研修への申込まで	就農予定市町村、品目の選定 ①就農相談（申込予定地域の担当との個別相談） ②営農・生活プランの検討 ③申込予定市町村（産地、先輩農家、関係機関）を必ず訪問
9月28日（日）	晴れの国おかやま就農セミナー&相談会への参加 ・三徳園（岡山市東区竹原505）にて、研修制度の概要・スケジュールの説明や先輩新規就農者の体験談等のセミナー及び参加者の希望に応じた個別相談を行います。
10月上旬～10月下旬	就農オリエンテーションへの参加 ・県内9地域で開催します。 ・複数地域（原則3地区まで）に申込可能です。 ・産地見学ツアーを実施する地域と、個別の産地訪問で対応する地域があります。 （各地域の期限までに申込みください） ・研修へ申込をする方は、オリエンテーション等を利用し、必ず希望地域の産地訪問をしてください。期間内に産地訪問できない場合は、管轄の農業普及指導センターにご連絡をお願いします。
産地に継続的に赴き、地域特性（病院、学校、交通アクセス）なども確認し、就農後のイメージが固まり、準備ができた方は新規就農研修の申込を検討↓↓↓	
<u>9月28日～11月6日</u> <u>（必着）</u>	新規就農研修（農業体験研修）への申込み 「新規就農研修事業（農業体験研修事業）申請書」の提出 【添付書類】 「健康診断書」、「岡山県新規就農研修事業（農業体験研修・農業実務研修）に係る注意事項確認書」
11月中旬～12月上旬	各地域での面接会 ・申込地域毎に面接会を行います。 ・研修申込者には日時・場所等を別途ご案内します。 ・面接会終了後、可否の連絡をします。
令和8年1月～7月頃	農業体験研修（約1か月）の実施
農業体験研修修了後	農業実務研修の準備 ①受入地域との合意 ②研修計画（就農までの手順、就農後の経営プラン等記載）の作成 ③農業実務研修の申請（研修計画添付） →研修主体、市町村、県の承認
農業実務研修の準備が整ったら	農業実務研修（2年以内） ※農業体験研修を受けた地域・品目での研修
農業実務研修修了後	就農 ※農業体験研修・農業実務研修を受けた地域・品目での就農

6 地域就農オリエンテーション（現地見学会）の開催について

（１）趣 旨

県では、県農業を将来にわたり発展させていくために、意欲あふれる新規就農者の確保に取り組んでいます。その取組の一環として、研修制度の利用を検討している方等を対象に、産地見学や農家との意見交換を行う地域就農オリエンテーションを開催します。

（２）実施主体

地域農林漁業担い手育成対策協議会、（公財）岡山県農林漁業担い手育成財団

（３）開催概要

ア 期 間 令和7年10月8日(水)から10月27日(月)
※開催日と申込〆切は、地域により異なります。

イ 場 所 県内9地域

ウ 内 容 各地域の農業の紹介、新規就農研修の受入体制の説明、産地見学、先輩農家等との意見交換会等

（４）参加申込み

ア 参加資格（代表者）
原則、研修制度を利用した産地での就農を検討されている方
※受入品目、対象者の要件が異なります。詳細は各地域のページを参照ください。

イ 申込方法
参加申込フォームによる申込
<https://pref-okayama.form.kintoneapp.com/public/tiikikenngakukai>

ウ 申込期限
開催日ごとに設定（概ね実施日の10日前ごろ）



こちらの二次元コードから申し込めます

（５）そ の 他

申込人数が多数となった場合は、お断りすることがありますので、あらかじめ御了承ください。また、申込は原則3地域まで、1地域あたり1家族2人までの参加とさせていただきます。

注 意 事 項

- ・ 参加費は無料ですが、昼食代等は実費負担が必要です。また、会場までの交通費、宿泊費等は各自で御負担ください。
- ・ 集合場所から現地までバス等で移動するため、集合時間の厳守をお願いします。
- ・ 開催日、集合場所、解散時間等は、地域により異なりますので、内容を御確認の上、お申し込みください。また、日程や内容は、申込状況等により変更する場合があります。
- ・ 詳細な開催内容について質問がありましたら、担当する農業普及指導センターへ直接お問い合わせください。

7 地域就農オリエンテーション、農業体験研修面接会の日程について

(1) 就農オリエンテーション日程(ツアー型)

月日	曜日	地域(締切日)	月日	曜日	地域(締切日)
9月22日	月	地域オリエンテーション申込開始	10月16日	木	東備(10/6月)
			10月17日	金	真庭(10/7火)
9月28日	日	体験研修申込開始	10月18日	土	
			10月19日	日	
10月6日	月		10月20日	月	高梁(10/10金)
10月7日	火		10月21日	火	井笠(10/10金)
10月8日	水	岡山(9/26金)	10月22日	水	
10月9日	木		10月23日	木	津山(10/10金)
10月10日	金		10月24日	金	
10月11日	土	倉敷(10/1水)	10月25日	土	
10月12日	日		10月26日	日	
10月13日	月	新見(10/3金)	10月27日	月	勝英(10/17金)
10月14日	火				
10月15日	水		11月6日	木	体験研修申込締切

(2) 体験研修面接会日程

月日	曜日	地域
11月17日	月	
11月18日	火	井笠
11月19日	水	
11月20日	木	倉敷
11月21日	金	真庭
11月22日	土	
11月23日	日	
11月24日	月	
11月25日	火	岡山、津山
11月26日	水	東備、新見、勝英
11月27日	木	高梁

(3) 個別対応が可能な地域と実施期間 ※平日のみの対応

地域	開催期間	申込締切	対象者
岡山	10月14日(火)～10月27日(月)	10月6日(月)	就農予定時50歳未満、研修制度の利用検討者に限る
高梁	10月10日(金)～10月31日(金)	10月21日(火)	55歳未満、高梁市で就農希望の者
新見	10月16日(木)～10月24日(金)	10月10日(金)	60歳未満、県内で就農希望の者
津山	10月1日(水)～10月24日(金)	10月14日(火)	55歳未満、見学先の就農相談歴がある者
真庭	9月29日(月)～10月31日(金)	10月24日(金)	55歳未満、研修制度の利用検討者に限る
勝英	10月1日(水)～10月22日(水)	10月16日(水)	60歳未満、県内で就農希望の者

※申込前に管轄の普及指導センターに電話にて日程調整をお願いします。

※申込締切は締切日の17時までとします。

★農業体験研修の申込み前にしておくこと★

- ① 必ず研修希望先への訪問(現地見学)を済ませてください。

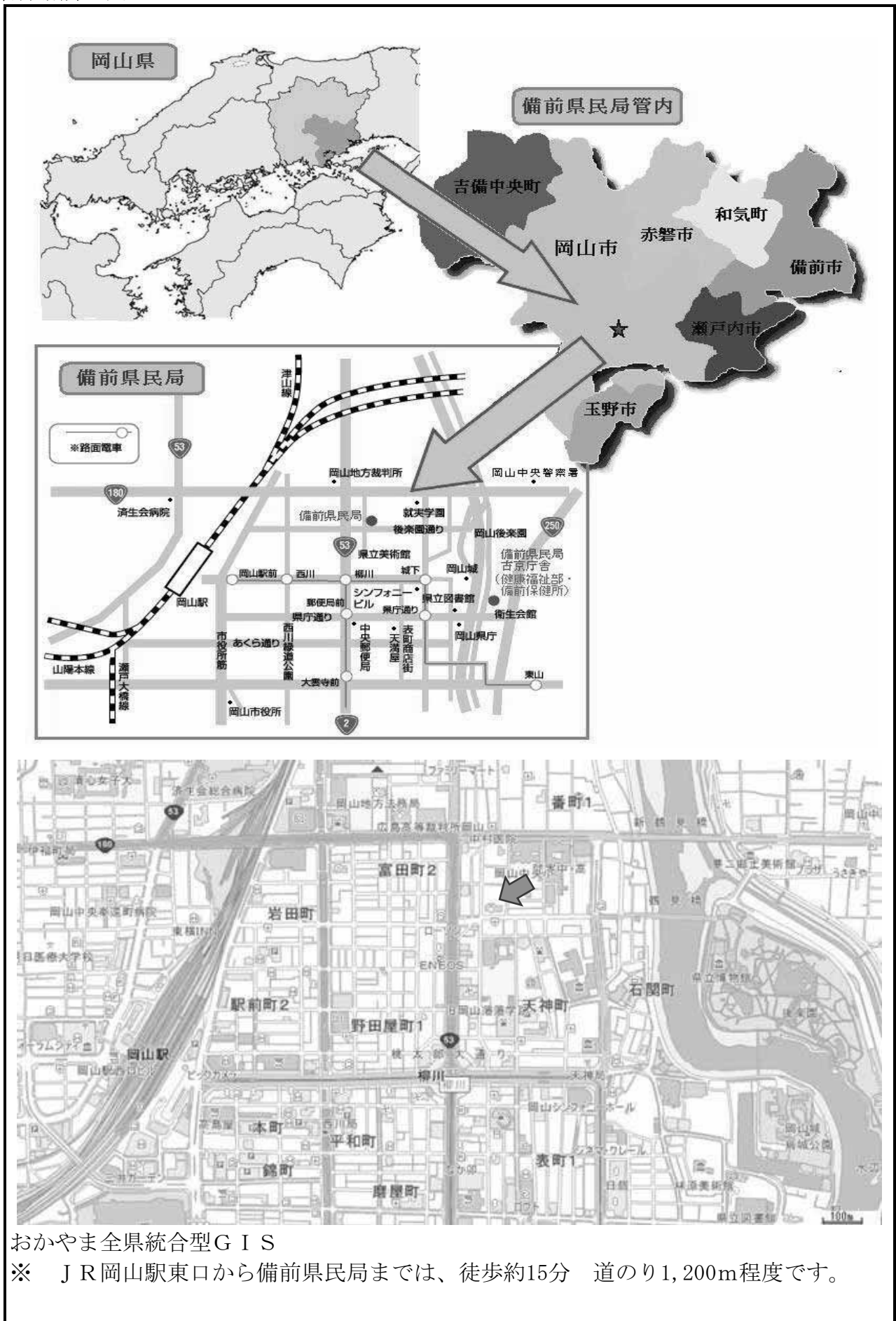
※一度限りではなく、可能な限り訪問を重ねることが望ましいです。

- ② 農業普及指導センターや市町村役場等と就農に向けた相談をしてください。

(ツアー型)

岡山地域①		<現地訪問市町村> 吉備中央町、岡山市	
開催日時	令和7年10月 8日(水) 9:30~17:00		
申込期限	令和7年 9月26日(金) 17:00		
集合場所	備前広域農業普及指導センター (岡山県備前県民局駐車場)	所在地	岡山市北区弓之町6-1
連絡先	備前広域農業普及指導センター 担当者: 谷本、中山		
	電話(086)233-9848(直通)		
対象者	年齢: 就農予定時50歳未満 その他: 研修制度の利用検討者に限る		
時間	就農オリエンテーションの内容		
9:30 (移動)	《備前県民局駐車場出発》		
10:30 ~11:30 (移動)	○ ぶどう産地(吉備中央町吉川) ・ 吉備中央町の産地概要説明 ・ 吉備中央農業公社ピオーネ園の見学 ・ 情報交換		
11:40 ~12:30 (移動)	○ 昼食		
13:10 ~14:30 (移動)	○ もも産地(岡山市北区芳賀) ・ J A岡山一宮選果場果樹部会もも部の概要説明 ・ もも栽培ほ場の見学 ・ 情報交換		
15:10 ~16:00	《備前県民局駐車場到着》 ○ 就農相談(備前県民局会議棟) ※1 希望者のみ。希望されない方は、ここで解散です。 ※2 相談時間は1組15~20分程度とします。		
<新規就農受入情報> ・ 各市町では、営農準備のための自己資金(生活費は除く)を十分に確保しており、地域の実情や習慣をしっかりと理解して行動できると判断した方を優先します。 ・ 農業を開始するには、施設や機械の購入資金の他に、経営が安定するまでの生活費を用意しておく必要があります。			
<その他留意事項> ・ ほ場見学がありますので、服装を考慮して参加してください。 ・ 昼食代として自己負担(1,200円程度)をお願いします。 ・ 都合により内容を変更する場合があります。 ・ 集合時間を厳守してください。			

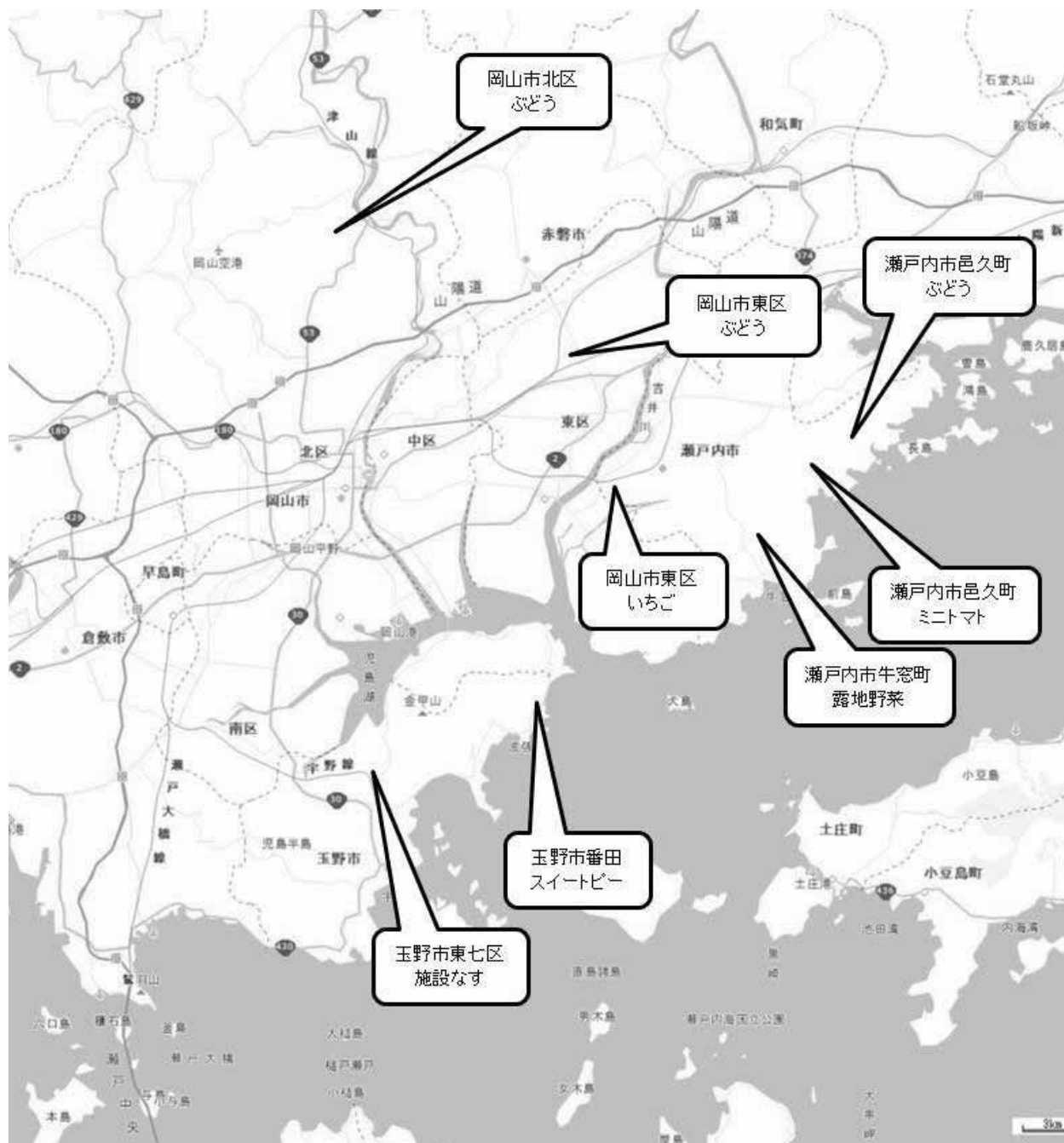
集合場所地図



(個別対応型)

岡山地域②		<現地訪問対応市町村> 岡山市・玉野市・瀬戸内市		
開催期間	令和7年10月14日(火)～10月27日(月)※平日のみ			
申込期限	令和7年10月6日(月)17:00 ※日程調整が必要なため、余裕をもってお申込みください。			
集合場所	備前広域農業普及指導センター (岡山県備前県民局駐車場)	所在地	岡山市北区弓之町6-1	
連絡先	備前広域農業普及指導センター 担当者: 谷本、中山			
	電話(086)233-9848(直通)			
対象者	年齢: 就農予定時50歳未満 その他: 研修制度の利用検討者に限る			
見学可能な産地・地域の内容				
	市町村名	地域名	品目	1 2 3 4 5 6 7 岡山 玉野 瀬戸内 北・東区 東区 東七区 番田 邑久町虫明 牛窓町長浜 邑久町尻海 ぶどう いちご 施設なす スイートピー ぶどう 露地野菜 ミニトマト

見学先地図

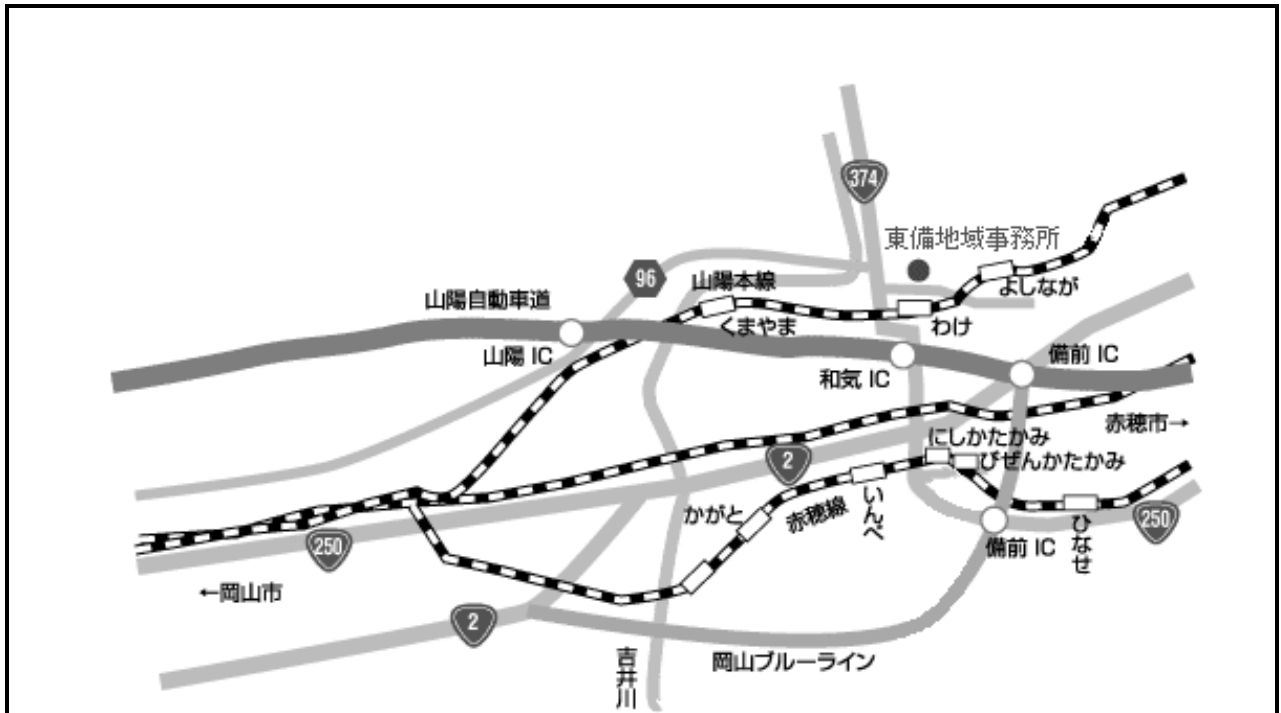


おかやま全県統合型GIS

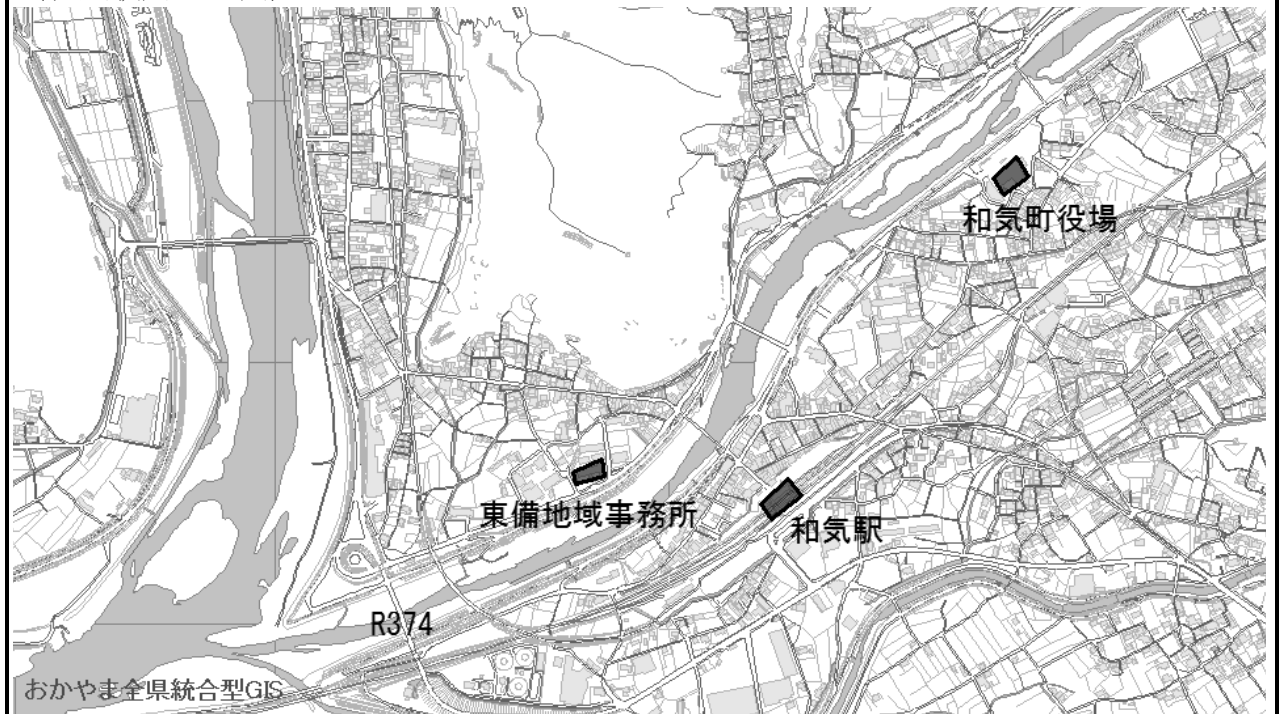
(ツアー型)

東備地域		<現地訪問市町村> 赤磐市、和気町	
開催日時	令和7年10月16日(木) 9:00～14:50		
申込期限	令和7年10月 6日(月) 17:00		
集合場所	備前県民局東備地域事務所 東館3階 大会議室	所在地	和気郡和気町和気487-2
連絡先	東備農業普及指導センター 担当者：原田		
	電話(0869)92-5176		
対象者	年齢：不問 その他：県内で就農を希望される方		
時間	就農オリエンテーションの内容		
9:30 (バスで移動)	備前県民局東備地域事務所 東館3階 大会議室 集合 ・日程説明 ・東備管内の農業及び受入について概要説明		
10:10～10:50 (バスで移動)	なす農家視察(和気町吉田地区) ・和気町の農業の概要と研修生の受入について		
11:40～12:20 (バスで移動) (バスで移動)	ぶどう農家視察(赤磐市是里地区) ・赤磐市の農業の概要について (昼食)		
13:40～14:20 (バスで移動)	もも農家視察(赤磐市山陽地区)		
14:50	備前県民局東備地域事務所着・解散 (希望があれば個別相談)		
<新規就農受入情報> ・労働力が2人以上あることが望ましい。 ・農業経営が軌道に乗るまでの当面の生活費・資材購入費などの十分な自己資金がある人。 ・目標が明確で、地域の実情や習慣に応じて地域の人と一緒にがんばれる人。			
<その他留意事項> ・時間厳守をお願いします。 ・動きやすい服装でお越しください。筆記用具、カメラ等は各自でご用意ください。 ・都合により、当日の日程が変更になることがあります。 ・昼食代として自己負担(1,000円程度)をお願いします。			

集合場所地図



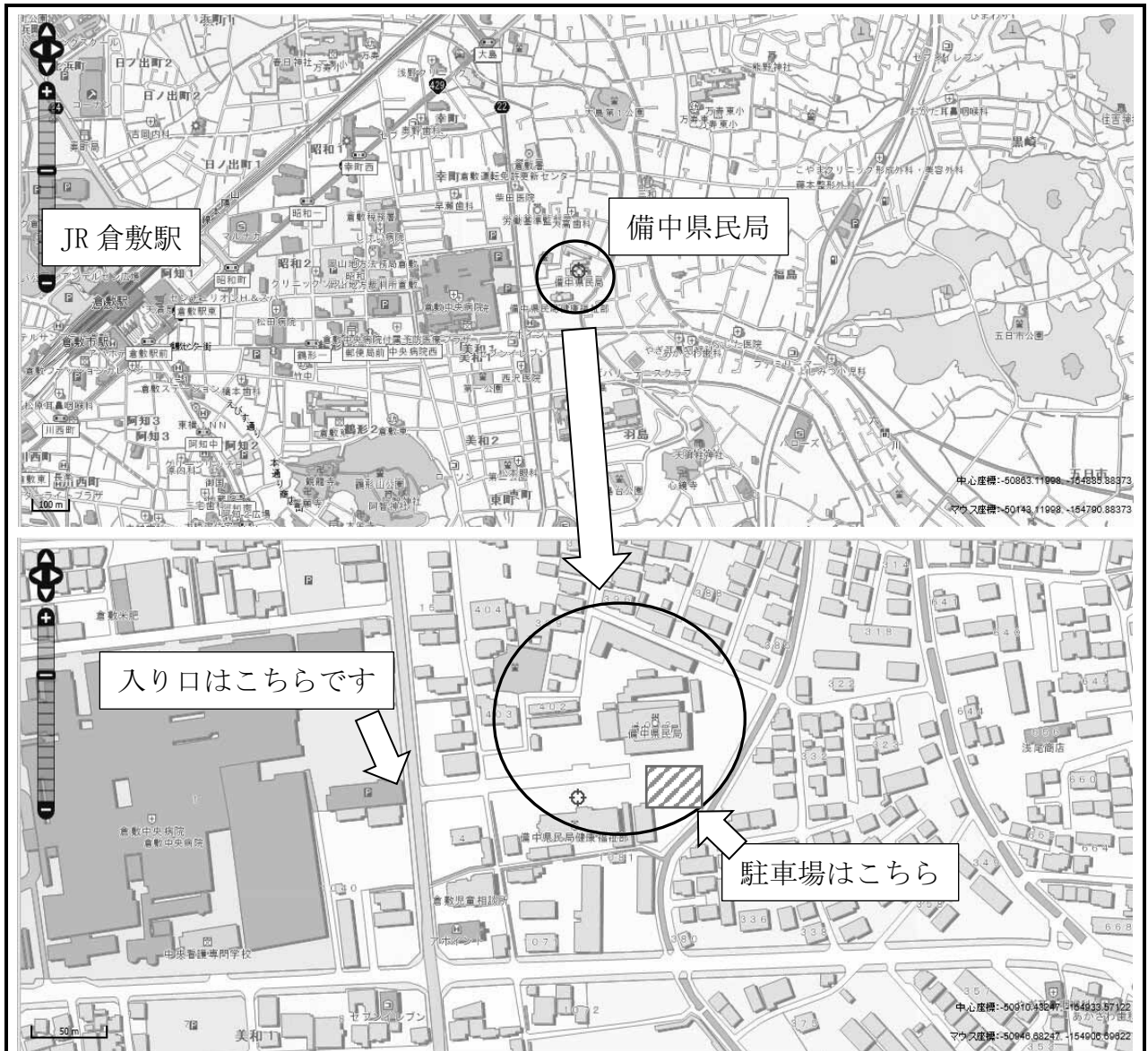
(和気駅周辺地図)



(ツアー型)

倉敷地域		<現地訪問市町村> 倉敷市、総社市	
開催日時	令和7年10月11日(土) 9:00~16:30		
申込期限	令和7年10月1日(水) 17:00		
集合場所	備南広域農業普及指導センター (備中県民局駐車場)	所在地	倉敷市羽島1083
連絡先	備南広域農業普及指導センター 担当者: 藤近、時實		
	電話 (086) 434-7048		
対象者	年齢: 不問 倉敷地域での就農、移住に関心のある方		
時 間	就農オリエンテーションの内容		
9:00 9:10 9:40~10:20 10:30~11:10 11:30~12:10 13:30~14:15 14:30~15:10 15:25~16:05 16:30	○備中県民局 集合・受付 ○出発(マイクロバス等)・車内: 倉敷地域の概要説明 倉敷市の新規就農者受入について ○現地見学【倉敷市船穂地区】スイートピー栽培ほ場見学 ○現地見学【倉敷市船穂地区】ぶどう栽培ほ場見学 ○現地見学【倉敷市浅原地区】もも栽培ほ場見学 (移動・昼食) ○現地見学【総社市秦地区】 総社市の新規就農者受入について ぶどう栽培ほ場見学 ○現地見学【総社市福井地区】なす栽培ほ場見学 ○現地見学【総社市山手地区】セルリー・メロンほ場見学 ○備中県民局 解散		
※都合により、見学場所や時間を変更 することがあります。			
<新規就農受入情報> ・倉敷市では、もも、スイートピー、マスカット・オブ・アレキサンドリア、総社市では、ぶどう、なす、セルリー・メロンの農業体験研修生を募集しています。 ・就農時の年齢が概ね50歳未満の人が対象です。 ・営農を開始するために施設、機械等の購入資金や経営が軌道に乗るまでの生活資金等が必要です(果樹では苗木の植付から収入が得られるまで5年程度必要です)。 ・産地(地域)の一員として頑張ることのできる人、自己資金を確保している人(500万円以上)、家族労力2人以上の人を優先します(既婚の人を優先)。 ・各産地では、農業体験研修の申込前に、地域での農作業体験を行うことを要件としています。受入条件、支援体制等は、オリエンテーション等で御確認願います。 ・農地の確保は関係機関等で紹介をしますが、実務研修期間中に御自身で探す努力も必要です。			
<その他留意事項> ・昼食は実費負担をお願いします(1,000円程度)。 ・時間厳守をお願いします。欠席、遅刻の場合は必ず連絡願います。 ・軽装・運動靴でお越しください。			

集合場所地図

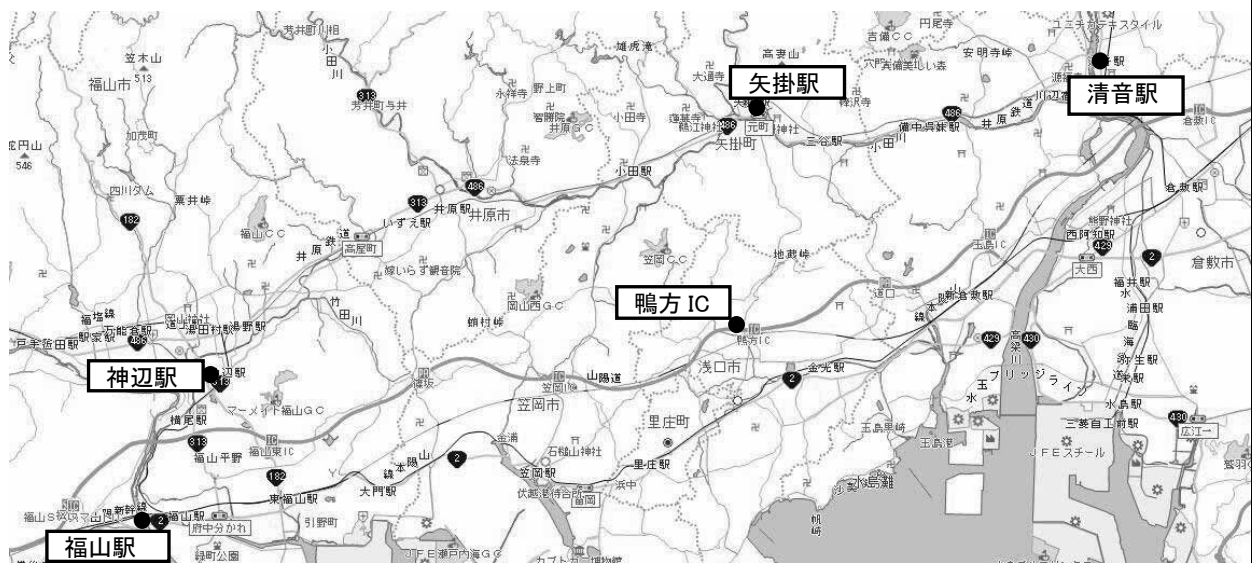


「おかやま全県統合型GIS」

(ツアー型)

井笠地域		<現地訪問市町村> 井原市、矢掛町	
開催日時	令和7年10月21日（火） 9：00～16：30		
申込期限	令和7年10月10日（金） 17：00		
集合場所	矢掛町観光駐車場 （井原鉄道矢掛駅西側）	所在地	矢掛駅西側 （駅：小田郡矢掛町大字矢掛字尾崎2247-2）
連絡先	井笠農業普及指導センター 担当者：三宅		
	電話（0865）69－1652		
対象者	年齢：原則55歳未満 その他：55歳以上で希望の方は普及センター へ御相談ください。		
時間	就農オリエンテーションの内容		
9:00	集合：矢掛町観光駐車場		
9:00～ 9:15	【移動・概要説明】井笠地域の農業及び新規就農者の受入について		
9:15～11:00	【現地見学(矢掛町①)】ぶどうほ場見学、研修受入産地の紹介 生産者との交流等 【現地見学(矢掛町②)】アスパラガスほ場見学、研修受入産地の紹介 生産者との交流等 (移動・昼食)		
12:30～16:00	【現地見学（井原市）】3地区のぶどうほ場見学、研修受入産地の紹介 生産者との交流等 (移動)		
16:30	解散：矢掛町観光駐車場 ※ ジャンボタクシー等で移動します。		
<新規就農受入情報> ・産地の担い手、地域の一員として、一緒に産地のもり立てに頑張る方を優先します。 ・農業経営を開始するための営農資金（施設・機械等の購入資金）、経営が軌道にのるまでの生活資金の準備が必要です。 ・各地域の受入条件や支援体制については、産地見学等で確認してください。 ・お試し住宅の利用については、各市町にお問い合わせください。			
<その他留意事項> ・集合時間を厳守してください。欠席、遅刻の場合は必ず連絡をお願いします。 ・ほ地を見学しますので、動きやすい服装・運動靴で参加してください。 ・カメラ、筆記用具等は各自でご用意ください。 ・昼食代は実費負担をお願いします。 ・都合により、日程・見学先を変更する場合があります。			

集合場所地図



「おかやま全県統合型GIS」



「おかやま全県統合型GIS」

<参考：矢掛町役場>

【鉄路】

岡山駅からの経路（約 60 分）

JR 伯備線の清音駅で井原鉄道に乗換えて矢掛駅下車

福山駅からの経路（約 45 分）

JR 福塩線の神辺駅で井原鉄道に乗換えて矢掛駅下車

※矢掛駅から町役場まで徒歩で約 4 分（約 350m）

【自家用車】

山陽自動車道 鴨方 IC から
約 20 分

(ツアー型)

高梁地域①		<現地訪問市町村> 高梁市	
開催日時	令和7年10月20日(月) 9:30~16:10		
申込期限	令和7年10月10日(金) 17:00		
集合場所	備北広域農業普及指導センター (備中県民局高梁地域事務所駐車場)	所在地	高梁市落合町近似286-1
連絡先	備北広域農業普及指導センター 担当者: 樋上		
	電話 (0866) 21-2851		
対象者	年齢: 55歳未満 その他: 高梁市で就農希望の者		
時間	就農オリエンテーションの内容		
9:30 10:20~11:05 11:25~12:40 13:00~13:45 14:55~15:40 16:10	(移動はジャンボタクシー又はマイクロバス) 【集合】 備中県民局高梁地域事務所駐車場 【現地見学】 備中町平川 ぶどうほ場見学 産地紹介、研修受入農家との情報交換等 【昼食】 概要説明 産地の状況及び市の支援制度等について 【現地見学】 備中町湯野 トマト、ぶどうほ場見学 産地紹介、研修受入農家との情報交換等 【現地見学】 有漢町 ぶどうほ場見学 産地紹介、研修受入農家との情報交換等 【解散】 備中県民局高梁地域事務所駐車場		
<新規就農受入情報> ・高梁市では、「 <u>ぶどう</u> 」と「 <u>夏秋トマト</u> 」の研修生を募集しています。 ・ <u>経営開始時の機械や施設の購入資金、数年間分の生活資金が必要です。</u> ・原則として労働力2名以上(ご夫婦等)を確保してください。 ・産地、地域の一員として、地域と一緒に頑張ることのできる方を募集します。			
<その他留意事項> ・道路事情等により終了時間が大幅に前後する場合がありますので、 <u>特に鉄道を利用する場合は、終了が遅くなる可能性があることを十分考慮してください。</u> ・昼食代はご負担ください(1,000円程度)。 ・都合により内容を変更する場合があります。 ・欠席・遅刻の場合は必ず連絡をお願いします。 ・動きやすい服装で参加してください。 ・高梁地域の就農情報を掲載したホームページがありますので、可能な方はオリエンテーション当日までに御覧下さい。  「高梁地域の就農情報」 で検索			

集合場所地図



(おかやま全県統合型GIS)

【自動車の場合】

倉敷市からは国道180号を北上して
高梁大橋交差点を左折すぐ右側。
(倉敷駅から約1時間)

岡山自動車道賀陽ICですすぐ右折
道なりに進み、ループ橋をおりて突
き当たりを左折。
次の突き当たりを右折。
高梁大橋交差点を左折すぐ右側。
(賀陽ICから約20分)



(おかやま全県統合型GIS)

【JRの場合】

JR伯備線備中高梁駅出口
を西側に降りて、西へまっす
ぐ。
国道180号を横断（地下通路あ
り）し、高梁川を渡ってすぐ右
側。
(駅から徒歩約10分)



【集合場所】 備中県民局高梁地域事務所外観

(個別対応型)

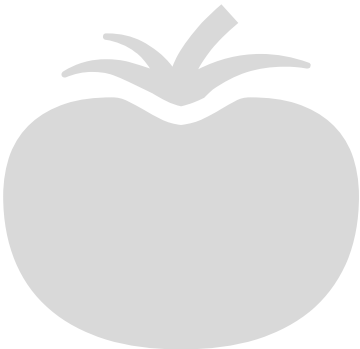
高梁地域②		<現地訪問対応市町村> 高梁（たかはし）市		
開催期間	令和7年10月10日（金）～10月31日（金）※平日のみ			
申込期限	令和7年10月21日（火）17:00 ※日程調整が必要なため、余裕をもってお申込みください。			
集合場所	備北広域農業普及指導センター （備中県民局高梁地域事務所2階）	所在地	高梁市落合町近似286-1	
連絡先	備北広域農業普及指導センター 担当者：樋上			
	電話（0866）21-2851			
対象者	年齢：55歳未満 その他：高梁市で就農希望の者			
見学可能な産地・地域の内容				
	市町村名	地域名	品目	見学内容
1	高梁市	備中町 成羽町 有漢町	ぶどう	栽培ほ場見学、先輩農業者との意見交換等
2	高梁市	備中町 川上町	トマト	栽培ほ場見学、先輩農業者との意見交換等
(参考) 見学のスケジュール (目安)				
時 間		内 容		
13:00		集合、地域の紹介、移動		
14:30～15:30		栽培ほ場見学、先輩農業者との情報交換		
16:30		個別相談、解散		
<新規就農受入情報> ・高梁市では、「ぶどう」と「夏秋トマト」の研修生を募集しています。 ・経営開始時の機械や施設の購入資金、数年間分の生活資金が必要 ・原則として労働力2名以上（ご夫婦等）を確保してください。 ・産地、地域の一員として、地域といっしょに頑張ることのできる方を募集します。				
<その他留意事項> ・事前に電話等での日程調整をお願いします。集合場所は、訪問する地区によって相談させていただきます。 ・「個別対応型」による現地訪問は、原則「ツアー型」で訪問する備中町湯野地区・平川地区、有漢町以外の地区の訪問を希望する方を対象としますが、都合により「ツアー型」に参加できない場合は御相談下さい。 ・自家用車での移動が基本となります。現地までは公用車等で先導します。 ・欠席・遅刻の場合は必ず連絡をお願いします。 ・動きやすい服装で参加してください。 ・高梁地域の就農情報ホームページがありますので、可能な方はオリエンテーション当日までに御覧下さい。				



「高梁地域の就農情報」
で検索

MEMO

Handwriting practice lines consisting of multiple horizontal dashed lines for text entry.



Tomato

(ツアー型)

新見地域①		<現地訪問市町村> 新見市	
開催日時	令和7年10月13日(月・祝) 8:50~16:00		
申込期限	令和7年10月 3日(金) 17:00		
集合場所	備中県民局新見地域事務所玄関前	所在地	新見市高尾2400
連絡先	新見農業普及指導センター 担当者: 福井		
	電話 (0867) 72-9177		
対象者	年齢: 60歳未満 その他: 県内で就農希望の者		
時間	就農オリエンテーションの内容		
8:50 9:00	備中県民局新見地域事務所玄関前集合・受付(新見市高尾) 開会あいさつ・出発 <各自車で移動>		
9:50~10:40	○トマト栽培の見学、営農団地の見学、新規参入者の話 (新見市神郷高瀬)		
10:50~11:40	○りんどう栽培の見学、新規参入者の話 (新見市神郷高瀬)		
12:40~13:00	○農協直売所見学 (新見市正田)		
13:30~14:30	一昼食一 (ピオーネ交流館)		
14:30~15:20	○ぶどう栽培の見学、新規参入者の話 (ピオーネ交流館)		
15:30~16:00	○豊永研修宿泊施設の見学 (新見市豊永佐伏)		
16:00	閉会・解散		
<新規就農受入情報> ・ぶどう(ピオーネ)、トマト、りんどうで研修の受け入れを行っています。 ・就農目標が明確で、産地や地域の一員として頑張ることのできる人を優先します。 ・営農開始に向けた経費や経営安定までの生活費等、十分な自己資金が必要です。 ・空き家や農地は関係機関でも紹介しますが、ご自身で探す努力が必要となります。 ・受入品目の農協生産部会への加入が必要です。 ・農業体験研修の前に短期農業体験研修を随時受付しています。			
<その他留意事項> ・動きやすい服装・靴・帽子で参加ください。雨天の場合は雨具を持参ください。 ・昼食はこちらで準備しますが、代金は自己負担でお願いします。 ・都合により時間・内容を変更する場合があります。 ・集合は時間厳守でお願いします。欠席、遅刻の場合は、必ず連絡をお願いします。			

集合場所地図

備中県民局新見地域事務所（広域地図）



備中県民局新見地域事務所（拡大地図）



「おかやま全県統合型GIS」

(個別対応型)

新見地域②		<現地訪問対応市町村> 新見市		
開催期間	令和7年10月16日(木)～10月24日(金)※平日のみ			
申込期限	令和7年10月10日(金)17:00 ※日程調整が必要なため、余裕をもってお申込みください。			
集合場所	新見農業普及指導センター (備中県民局新見地域事務所1階)	所在地	新見市高尾2400	
連絡先	新見農業普及指導センター 担当者：福井			
	電話(0867)72-9177			
対象者	年齢：60歳未満 その他：県内で就農希望の者			
見学可能な産地・地域の内容				
	市町村名	地域名	品目	見学内容
1	新見市	豊永	ぶどう	地域の紹介、栽培ほ場見学、先輩農業者との情報交換、営農団地見学等
2	新見市	神郷	トマト	地域の紹介、栽培ほ場見学、先輩農業者との情報交換、営農団地見学等
3	新見市	哲西	りんどう	地域の紹介、栽培ほ場見学、先輩農業者との情報交換等
(参考) 見学のスケジュール(目安)				
時 間		内 容		
9:30 10:15～11:15 12:00		集合 地域の紹介、栽培ほ場見学、先輩農業者との意見交換 解散		
<新規就農受入情報> ・ぶどう(ピオーネ)、トマト、りんどうで研修の受け入れを行っています。 ・就農目標が明確で、産地や地域の一員として頑張ることのできる人を優先します。 ・営農開始に向けた経費や経営安定までの生活費など、十分な自己資金が必要です。 ・空き家や農地は関係機関でも紹介しますが、ご自身で探す努力が必要となります。 ・受入品目の農協生産部会への加入が必要です。 ・農業体験研修の前に短期農業体験研修を随時受付しています。				
<その他留意事項> ・動きやすい服装・靴・帽子で参加ください。雨天の場合は雨具を持参ください。 ・都合により時間・内容を変更する場合があります。 ・集合は時間厳守でお願いします。欠席、遅刻の場合は必ず連絡をお願いします。				

見学先地図

1 ぶどう見学先（新見市豊永赤馬）



2 トマト見学先（新見市神郷高瀬）



3 りんどう見学先（新見市哲西町八鳥）

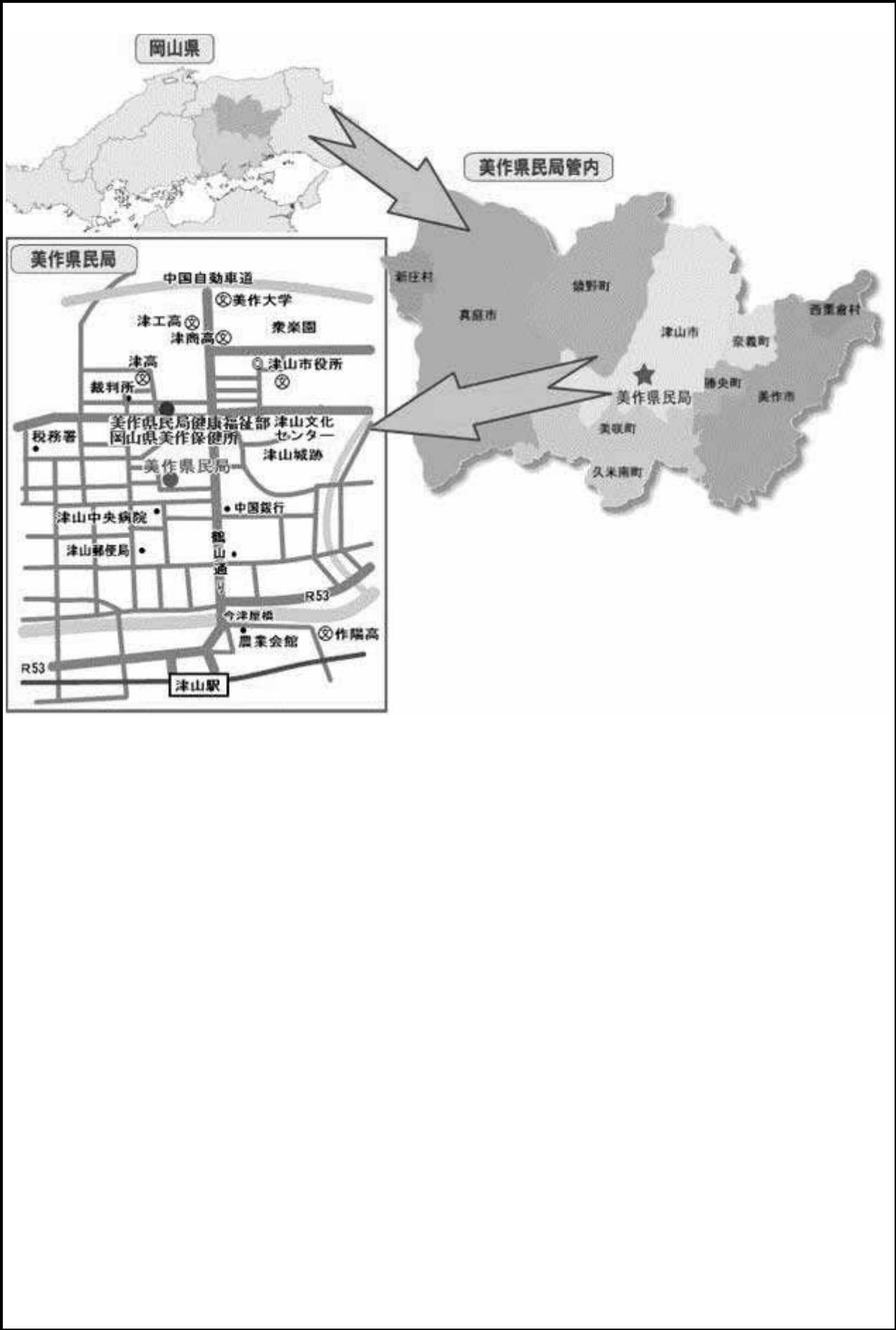


「おかやま全県統合型GIS」

(ツアー型)

津山地域①		<現地訪問市町村> つやまし くめなんちょう みさきちょう 津山市、久米南町、美咲町	
開催日時	令和7年10月23日(木) 9:00～17:00		
申込期限	令和7年10月10日(金) 17:00		
集合場所	美作広域農業普及指導センター (美作県民局本館3階西会議室)	所在地	津山市山下 ^{さんげ} 53
連絡先	美作広域農業普及指導センター 担当者：大森		
	電話(0868)23-1524		
対象者	年齢：60歳未満 その他：津山地域で就農希望の者		
時間	就農オリエンテーションの内容		
8:45～	集合、受付		
9:00 9:15	開会、日程説明、津山地域の農業、研修受入の概要について 美作県民局出発 ジャンボタクシーで移動		
10:05～10:50	○現地見学 ～久米南町山手～ 久米南町の概要について ぶどう産地の概要、研修生の受入について		
11:10～11:50	○現地見学 ～久米南町別所～ きゅうり産地の概要、研修生の受入について		
(休憩)	道の駅くめなん(各自昼食)※就農相談(希望者のみ)		
13:20～14:00	○現地見学 ～美咲町原田～ 美咲町の概要について ぶどう産地の概要、研修生の受入について		
14:20～15:00	○現地見学 ～津山市油木北～ 津山市の概要について ぶどう産地の概要、研修生の受入について		
16:05～16:45	○現地見学 ～津山市上横野～ ぶどう産地の概要、研修生の受入について		
17:00	美作県民局帰着・解散		
<新規就農受入情報> ・産地の一員として、地域の担い手として一緒に頑張れる人を希望します。 ・機械、施設等の購入資金や当面の生活費など、相応の自己資金の準備があること。 ・2人以上の労働力を確保できることが望ましいです。			
<その他留意事項> ・時間厳守で集合してください。欠席や遅刻の場合は必ず連絡してください。 ・動きやすい服装・帽子・運動靴でお越しください。(雨天の場合は雨具) ・各自昼食代をご負担ください。(千円程度)			

集合場所地図



(個別対応型)

津山地域②		<現地訪問対応市町村> 津山市、鏡野町、美咲町、久米南町		
開催期間	令和7年10月 1日(水)～10月24日(金)※平日のみ			
申込期限	令和7年10月14日(火) 17:00 ※日程調整が必要なため、余裕をもってお申込みください。			
集合場所	美作広域農業普及指導センター (美作県民局別館2階)	所在地	津山市山下53	
連絡先	美作広域農業普及指導センター 担当者：大森			
	電話(0868)23-1524			
対象者	年齢：55歳未満 その他：津山地域で見学先の就農相談歴があること			
見学可能な産地・地域の内容				
	市町村名	地域名	品目	地域の紹介、 栽培ほ場見学、 地域農業者との意見交換
1	津山市	全域	ぶどう、野菜、 水稲、他	
2	鏡野町	鏡野	ぶどう、野菜、 花き	
3	久米南町	山手 全域	ぶどう きゅうり	
4	美咲町	全域	ぶどう	
(参考) 見学のスケジュール (目安)				
時 間		内 容		
13:00 14:00～15:00 16:00		集合 栽培ほ場見学、地域の紹介、情報交換、等 解散		
<新規就農受入情報> ・産地の一員として、地域の担い手と一緒に頑張れる人を希望します。 ・機械、施設等の購入資金や当面の生活費など、相応の自己資金の準備があること。 ・2人以上の労働力を確保できることが望ましいです。				
<その他留意事項> ・申込み前までに見学希望先について事前相談を行った方を対象とします。 ・事前に電話等で日程調整をお願いします。 ・時間厳守で集合してください。欠席や遅刻の場合は必ず連絡してください。 ・動きやすい服装・帽子・運動靴でお越し下さい。(雨天の場合は雨具)				

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.



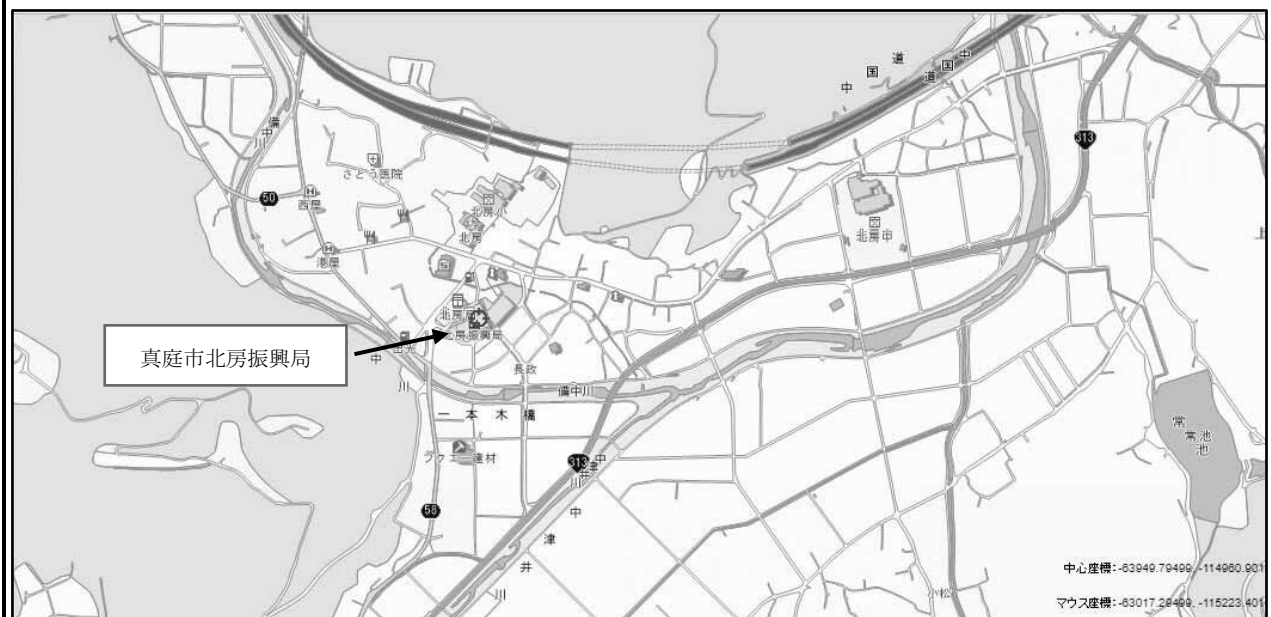
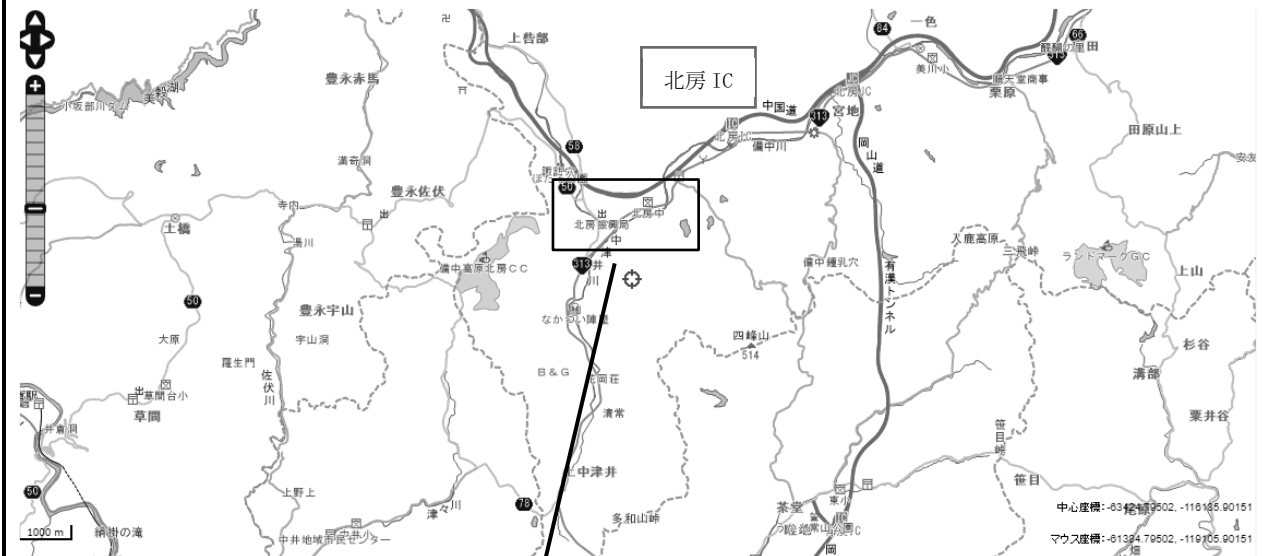
Grapes

(ツアー型)

真庭地域①		<現地訪問市町村> 真庭市	
開催日時	令和7年10月17日(金) 9:00～16:00		
申込期限	令和7年10月 7日(火) 17:00		
集合場所	真庭市北房振興局	所在地	真庭市下砦部248
連絡先	真庭農業普及指導センター 担当者:三宅		
	電話(0867)44-7582		
対象者	年齢:55歳未満 その他:研修制度の利用検討者に限る		
時間	就農オリエンテーションの内容		
9:00	真庭市北房振興局 集合・出発		
9:10～	真庭市上水田 ぶどう栽培ほ場視察 JA晴れの国岡山びほくぶどう生産部会北房支部		
～11:30	真庭市木山・三崎 ぶどう栽培ほ場視察 JA晴れの国岡山まにわぶどう部会		
(昼食)	真庭市下湯原温泉 湯原ひまわり館		
13:00～	真庭市下湯原 野菜栽培ほ場視察 落合野菜果物出荷組合		
	真庭市蒜山下福田 ぶどう栽培ほ場視察 (一社)蒜山農業公社		
～16:00	真庭市北房振興局 到着・解散 (要望があれば引き続き就農相談を実施)		
	※都合により、見学場所や時間を変更することがあります。		
<新規就農受入情報> ・ぶどう4名(研修主体がJA晴れの国岡山、(株)日本植生グループ本社)、トマト1名(研修主体がJA晴れの国岡山)、野菜複合1名(研修主体が落合野菜果物出荷組合)の受入を予定しています。 ・農業経営を開始するための施設や機械等の購入資金、経営が軌道に乗るまでの生活資金等が必要です。 ・自己資金を確保しており、産地の一員として頑張れる方を募集します。			
<その他留意事項> ・集合は時間厳守をお願いします。欠席、遅刻の場合は必ず連絡をお願いします。 ・筆記用具、カメラ等は各自でご持参ください。 ・動きやすい服装、運動靴等でお越しください。 ・都合により当日の日程、視察先等が変更になる場合があります。 ・当日の昼食代は、各自個人負担をお願いします。			

集合場所地図

おかやま全県統合型GIS

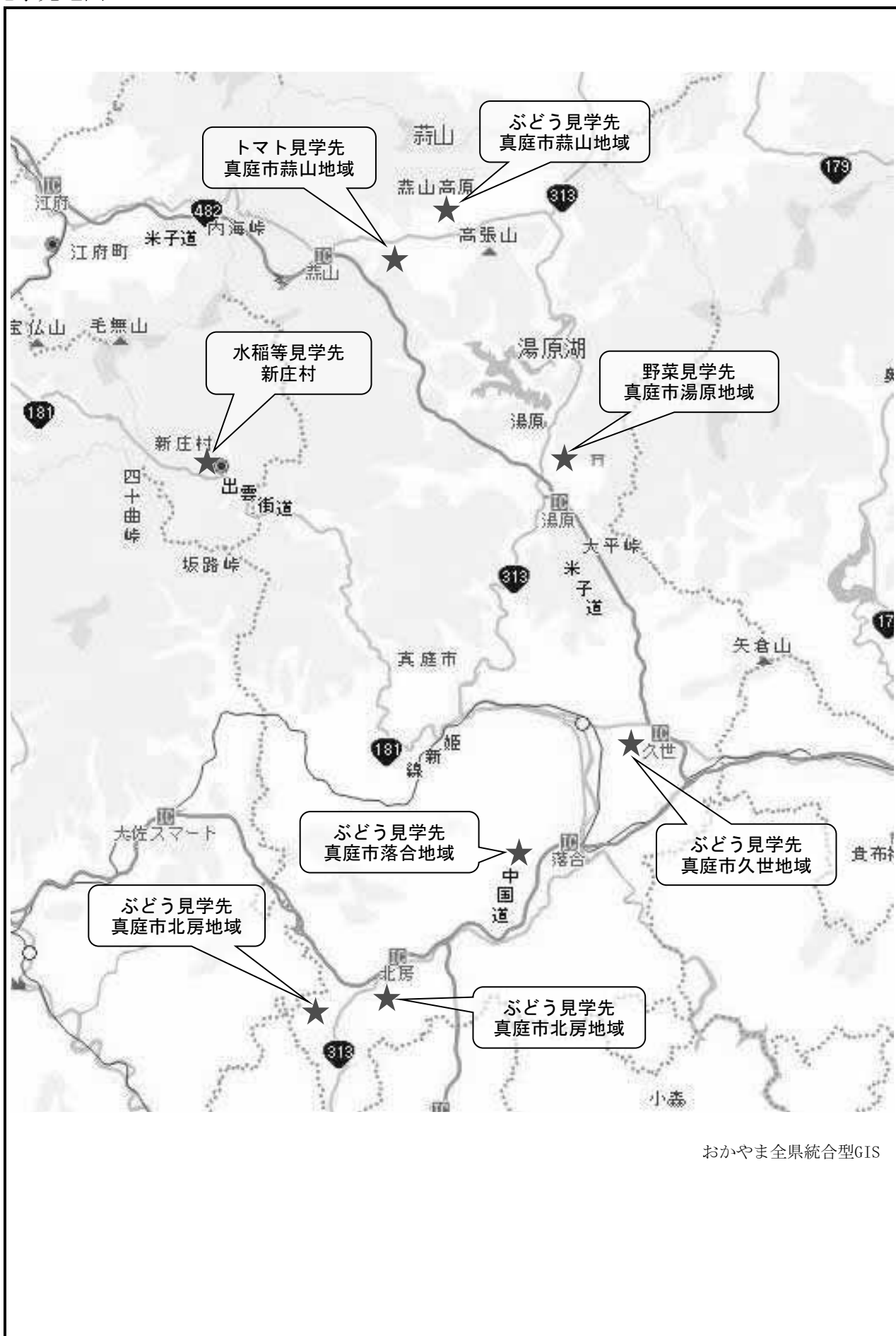


- ・ 集合場所 真庭市北房振興局
 (真庭市下皆部248)
- ・ 高速道路利用 中国自動車道 北房 I C から約 5 分

(個別対応型)

真庭地域②		<現地訪問対応市町村> 真庭市・新庄村		
開催期間	令和7年 9月29日(月)～10月31日(金) ※平日のみ			
申込期限	令和7年10月24日(金) 17:00			
集合場所	真庭農業普及指導センター (真庭地域事務所3階)	所在地	真庭市勝山591	
連絡先	真庭農業普及指導センター 担当者:三宅			
	電話(0867)44-7582			
対象者	年齢:55歳未満 その他:研修制度の利用検討者に限る			
見学可能な産地・地域の内容				
	市町村名	地域名	品目	見学内容 地域の紹介、栽培ほ場見学、地域農業者との情報交換
1	真庭市	北房、落合 久世、蒜山	ぶどう	
2	真庭市	蒜山	トマト	
3	真庭市	落合、久世 湯原	野菜複合	
4	新庄村	全域	水稻(ヒメノモチ)+ 白ねぎ+キャベツ	
(参考) 見学のスケジュール(目安)				
時 間		内 容		
9:30		集合		
10:00～11:30		地域の紹介、栽培ほ場見学、先輩農業者との意見交換		
12:00		解散		
<新規就農受入情報>				
・真庭市では、ぶどう5名(研修主体がJA晴れの国岡山、(株)日本植生グループ本社)、トマト1名(研修主体がJA晴れの国岡山)、野菜複合1名(研修主体が落合野菜・果物出荷組合)を、新庄村では、水稻(ヒメノモチ)+白ねぎ+キャベツ1名(研修主体が新庄村農業公社)の受入を予定しています。 ・農業経営を開始するための施設や機械等の購入資金、経営が軌道に乗るまでの生活資金等が必要です。 ・自己資金を確保しており、産地の一員として頑張れる方を募集します。				
<その他留意事項>				
・集合は時間厳守をお願いします。欠席、遅刻の場合は必ず連絡をお願いします。 ・筆記用具、カメラ等は各自でご持参ください。 ・動きやすい服装、運動靴等でお越しください。 ・都合により当日の日程、内容が変更になる場合があります。				

見学先地図



おかやま全県統合型GIS

(ツアー型)

勝英地域①		<現地訪問市町村> 美作市、勝央町	
開催日時	令和7年10月27日(月) 13:00～16:30		
申込期限	令和7年10月17日(金) 17:00		
集合場所	勝英農業普及指導センター (美作県民局勝英地域事務所4階)	所在地	美作市入田291-2
連絡先	勝英農業普及指導センター 担当者: 平賀		
	電話 (0868) 72-4067		
対象者	年齢: 60歳未満 その他: 県内で就農希望の者		
時間	就農オリエンテーションの内容		
13:00集合 13:30出発	集合場所 美作県民局勝英地域事務所(美作市入田291-2) ※地域事務所にて、勝英地域の農業の概要説明		
13:50～14:40	【現地見学①】 ぶどう農家ほ場見学(美作市猪臥または豊国原) 美作市の概要、就農支援体制について 情報交換		
15:10～16:00	【現地見学②】 ぶどう農家ほ場見学(勝央町豊久田) 勝央町の概要、就農支援体制について 情報交換		
16:30解散	解散場所 美作県民局勝英地域事務所		
<新規就農受入情報> ・経営開始の資金や経営が軌道に乗るまでの生活費等自己資金を十分確保しておく必要があります。また、農業に熱意があり、地域との連携が保てる方を希望します。 ・上記日程以外での現地訪問を希望される場合は、調整の上、訪問の機会を設けますのでご相談ください。			
<その他留意事項> ・集合は時間厳守をお願いします。欠席や遅刻の場合は必ず連絡をお願いします。 ・動きやすい服装、運動靴でお越しください。 ・申込状況等により内容を変更する場合がありますので、御了承ください。			

集合場所地図



おかやま全県統合型GIS



おかやま全県統合型GIS

集合場所

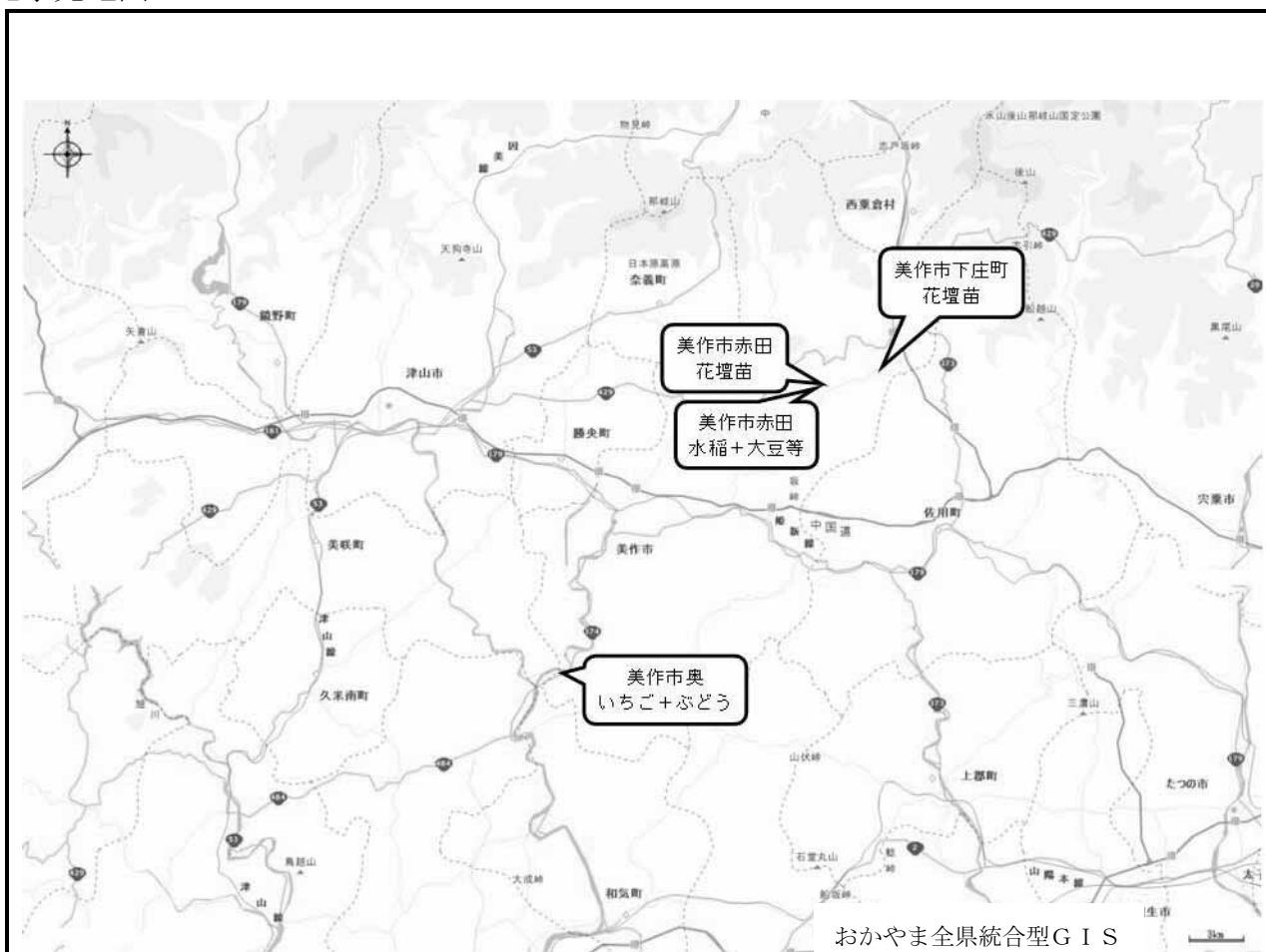
美作県民局勝英地域事務所（美作市入田 291-2）

高速道路利用 中国自動車道 美作 IC から 車で5分

(個別対応型)

勝英地域② <現地訪問対応市町村> 美作市																					
開催期間	令和7年10月 1日(水)～10月22日(水) ※平日のみ																				
申込期限	令和7年10月16日(水) 17:00 ※日程調整が必要なため、余裕をもってお申込みください。																				
集合場所	勝英農業普及指導センター (美作県民局勝英地域事務所4階) 所在地 美作市入田291-2																				
連絡先	勝英農業普及指導センター 担当者：平賀 電話(0868)73-4067																				
対象者	年齢：60歳未満 その他：県内で就農希望の者																				
見学可能な産地・地域の内容																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>市町村名</th> <th>地域名</th> <th>品 目</th> <th>見学内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>美作市</td> <td>赤田</td> <td>水稲 +大豆</td> <td>地域の紹介、(農)赤田営農センターの栽培ほ場見学、情報交換等</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>美作市</td> <td>奥</td> <td>いちご +ぶどう</td> <td>地域の紹介、(有)美作農園の栽培ほ場見学、情報交換等</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>美作市</td> <td>赤田 下庄町他</td> <td>花壇苗</td> <td>地域の紹介、(株)永谷園芸・(株)洲崎園芸の栽培ほ場見学、情報交換等</td> </tr> </tbody> </table>		市町村名	地域名	品 目	見学内容	1	美作市	赤田	水稲 +大豆	地域の紹介、(農)赤田営農センターの栽培ほ場見学、情報交換等	2	美作市	奥	いちご +ぶどう	地域の紹介、(有)美作農園の栽培ほ場見学、情報交換等	3	美作市	赤田 下庄町他	花壇苗	地域の紹介、(株)永谷園芸・(株)洲崎園芸の栽培ほ場見学、情報交換等
	市町村名	地域名	品 目	見学内容																	
1	美作市	赤田	水稲 +大豆	地域の紹介、(農)赤田営農センターの栽培ほ場見学、情報交換等																	
2	美作市	奥	いちご +ぶどう	地域の紹介、(有)美作農園の栽培ほ場見学、情報交換等																	
3	美作市	赤田 下庄町他	花壇苗	地域の紹介、(株)永谷園芸・(株)洲崎園芸の栽培ほ場見学、情報交換等																	
(参考) 見学のスケジュール(目安)																					
時 間	内 容																				
13:00 13:00～15:00 15:00	集合 地域の紹介、栽培ほ場見学、先輩農業者との意見交換 解散																				
<新規就農受入情報> ・経営開始の資金や経営が軌道に乗るまでの生活費等自己資金を十分確保しておく必要があります。また、農業に熱意があり、地域との連携が保てる方を希望します。																					
<その他留意事項> ・事前にお電話での日程調整をお願いします。 ・自家用車あるいはレンタカー等での移動をお願いします。公用車で先導します。 ・動きやすい服装、運動靴等でお越しください。 ・時間・内容は目安ですので、御相談ください。																					

見学先地図



集合場所

美作県民局勝英地域事務所（美作市入田 2 9 1 - 2）

高速道路利用 中国自動車道 美作 IC から 車で 5 分

【参考】県立青少年農林文化センター三徳園について

三徳園は、岡山県の新たな農業の担い手を育成する拠点施設として、研修交流館や果樹・野菜の研修農場を活用した各種の農業研修を実施しています。対象は、就農を希望する方から既に就農した方までと幅広く、専門指導員や専門家による基礎から応用まで、研修生の段階に合わせた栽培管理実習や講義など、研修メニューを用意しております。

また、研修交流館には農業経営・就農支援センターを併設し、農業法人化や販路拡大などの経営課題に関する窓口相談や、専門家の派遣等による個別経営支援等を行っています。



三徳園で実施している各種研修

研修名	内 容	日数・回数等	申込み時期
1 DAY 農業入門&就農相談	就農に興味があるが農業者初心者という方を対象に、農業機械や栽培ほ場の見学と、就農相談などを行います（半日程度）。	5～3月 （月1回程度）	開催月の前月
ホリデイ就農ゼミ	農業初心者・将来就農を検討している方を対象に、農場の野菜や果樹に触れながら農作業体験、講義など行います。	4～12月の土曜日 （8回程度）	2月頃 （年1回）
社会人就農研修	就農意欲の高い方、新規就農して間もない方を対象に、果樹（もも・ぶどう各コース）と野菜コースを設け、講義・実習等を組み合わせた実践的な研修を行います。	4～2月の平日 果樹コース：約35回 野菜コース：約50回	1月頃 （年1回） ※面接選考あり
栽培実践研修	就農を検討している方、新規就農して間もない方を対象に、年間を通した果樹（もも・ぶどう）と、野菜の栽培管理を実践的に学ぶ研修を行います。	最長2年間 （週1～5日の平日を基本）	随時 （個別に面接）
栽培技術等向上研修	就農後のスキルアップに向けた各種研修を行っています。 （ハウス組立、ぶどう棚設置、いちご栽培管理、経営計画作成、農業用刀物他）	各研修1～5回程度	随時 （研修ごとに募集）

※ 研修内容や申込方法、研修費等は、県協議会 HP「晴れの国岡山で農業をやってみませんか？」をご確認ください。なお、日数・回数等は、変更になる可能性があります。

【参考】 令和7年度 就農相談会等開催予定

1 岡山開催、オンライン

(1) 就農セミナー&相談会

開催日	場所	内容
9月28日(日)	県立青少年農林文化センター三徳園 ※オンライン併用	・先輩新規就農者の体験談
2月7日(土)		・就農に向けた準備・研修制度について ・個別相談:総合相談、県下9地域、法人就農、有機栽培、移住

(2) 就農準備講座

開催日	場所	内容
7月26日(土)	県立青少年農林文化センター三徳園 ※オンライン併用	・就農に向けた準備・研修制度について
10月25日(土)		・営農に必要な施設等について
11月8日(土)		・就農プラン作成基礎講座 ・7月、11月は果樹、10月は野菜をテーマに実施予定

(3) オンライン相談

開催日	イベント名	内容
毎月第4水曜日 日中 (月により変動あり)	オンライン「就農」相談	・就農総合相談
毎月第3木曜日	ナイター「移住」相談会	・移住、市町村、就農総合相談

2 大阪開催

開催日	イベント名	場所
7月6日(日)	夏の移住定住フェア in 大阪	AP大阪茶屋町(大阪市北区茶屋町 1-27)
10月18日(土)	移住フェア in 大阪(仮)	難波御堂筋ホール(大阪市中央区難波 4-2-1)
11月9日(日)	新・農業人フェアEXPO大阪	グランキューブ大阪(大阪市北区中之島 5-3-51)
1月24日(土)	就農準備講座(仮)	AP大阪駅前(大阪市北区梅田 1-12-12) (予定) ※オンライン併用
2月8日(日)	移住フェア in 大阪(仮)	AP大阪茶屋町(大阪市北区茶屋町 1-27)

3 東京開催

開催日	イベント名	場所
9月15日(月)	新・農業人フェアEXPO東京	東京国際フォーラム(千代田区丸の内 3-5-1)
10月19日(日)	移住フェア in 東京(仮)	東京交通会館(千代田区有楽町 2-10-1)
11月23日(日)	新・農業人フェアEXPO東京	東京ビッグサイト(江東区有明 3-11-1)

※詳細は就農ポータルサイト「晴れの国岡山で農業をやってみませんか？」に随時掲載します。

<https://www.okayama-ninaite.com/>

【参考】新規就農研修（農業体験研修）の心構え等について

■農業体験研修の概要

この研修は、将来農家として自立したときの生活スタイルを知ることが目的です。したがって、研修先となる受入農家は、「研修」と言いながらも、「午前9時から午後5時まで」とか「午前中は講義」といったものではありません。受入農家の方と一緒に生活しながらの農作業体験が中心となります。

農作業の時間や休憩・休日などは特に定めませんので、受入農家の都合に合わせてことになります。

また、研修期間中には、地域農業の紹介や先進地農家の視察、青年農業者等との交流会なども予定していますが、特に希望することがありましたら担当の農業普及指導センター等へ申し出てください。

■農業体験研修のねらい

1 経営としての農業を知る

皆さんは農業経営者（社長）になることを目指して研修を申し込まれた方々です。まずは経営者としてどのような考え方が必要なのかを知ることが必要です。

皆さんを受け入れる農家は、いずれも各地域を代表する農家の方です。農業技術、経営技術ともに優れ、地域のモデルとなっています。ですから、この研修では、ただ単に農作業と一緒にするのではなく、なぜその作業をするのか、なぜそのような判断になるのか、受入農家をよく観察し、よく考えながら取り組むことが大切です。

2 地域の農業を知る

産地やそれを作り上げてきた農家には、多くの苦勞とそこに至るまでの努力と工夫があったはずです。そうしたことを知らずして、地域の一員になり、地域の発展に貢献することは困難です。

地域の人たちが、どのような意気込みで農業に取り組んでいるか、それぞれの立地条件をどう克服し活用しているのか、それらを農業や産地の実態を自分の五感で直接確かめることが大切です。

■農業体験研修の心得

1 毎日の研修記録（作業日誌）をつける

皆さんが研修を受ける場所は農家です。特別に講義の時間を設けてくれる訳ではありませんが、農業関係の本を読んだり、作業内容や気が付いたことをメモすることは大切です。

慣れない農作業で疲れることも多いと思いますが、毎日の学習や研修記録が研修終了後の経営計画の策定や農業を実践する上で貴重な資料となるはずです。

なお、研修記録については、受入農家及び農業普及指導センターの担当者に内容を確認してもらうようにしていますので（受入農家には基本的に毎日、農業普及指導センターには週1回程度）、記録を書いたら確認をしてもらってください。

2 疑問を残さない研修とするために

皆さんが農業についての知識や経験が乏しいことは農家の方も承知していますが、皆さんが黙っては何も教えてくれない場合があるかもしれませんので、皆さんの方から遠慮なく質問をしてください。農家の方は皆さんからの積極的な質問を期待しています。疑問があれば質問をして理解することが大切です。

また、実りある研修にするためにも、農家の方からの指示がないときには、皆さんの方から積極的に何をすればいいのかを聞いてみてください。

3 施設や農機具使用のエチケット

皆さんは受入農家の施設や農機具を利用させてもらって研修を受けます。したがって、その取り扱いは、丁寧にしてください。

片付けは、大切な作業の1つです。使った後の片付け方は受入農家の方の指示に従ってきちんと行ってください。

4 「自分は研修生だ」という特別な意識を持たない

皆さんは研修生という立場ですが、農家の方は、皆さんを指導するためだけに経営を行っている訳ではありません。研修生だから全てお膳立てしてもらえるものではなく、自分から意欲を持って取り組むことが大切です。

また、農業と直接関係ないと思われる内容もあるかもしれませんが、地域の事柄はどこかでつながっているものです。何にでも積極的に取り組みましょう。

5 すぐに批判しない・結論を急がない

知らない土地で、異なる人情や慣習に接すると、異を唱えたいくなることもありますが、これを口に出すことは厳に慎まなければなりません。

皆さんから見ておかしいと思われることでも、その家や地域にあるものには、それなりの理由や背景があるものです。まずは理解することを心がけましょう。

6 病気や事故に十分注意する（無理をしない）

有意義な研修を行うには、健康が第一です。体調を崩したときには、無理をせず、農家の方に申し出てください。

研修中は受入農家の指示や指導を守り、怪我などしないよう、よく注意してください。分からないことは受入農家に尋ね、危険と思う作業は行わないようにすることも大切です。また、必ず傷害保険等に入るようにしてください。

■研修期間中の生活について

生活様式や家庭の雰囲気に関わる

研修場所は、皆さんがこれまでに生活していた地域とは、生活様式も環境も大きく異なっていると思いますが、そうしたことを理解し、溶け込むことが周囲との調和を生み出していくことが研修を活用して就農するための大事な前提です。

そうした理解を早めるために、農家の方から生活の概要や土地柄について話を聞かせてもらいましょう。農作業が終わったからと帰るのではなく、農家の方の迷惑にならない範囲で、出来るだけ家族の中に入って気軽に話をすることが必要です。

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.



Peach

(様式第 2 号)

年 月 日

岡山県知事 殿

氏 名

新規就農研修事業（農業体験研修事業）申請書

就農促進トータルサポート事業実施要領第 4 の 1 の農業体験研修事業を受けたいので、健康診断書（別紙 2－1）及び岡山県新規就農研修に係る注意事項確認書（別紙 2－2）を添付して申請します。

記

1 氏名等

ふりがな	性 別	写 真 タテ ヨコ 4 cm × 3 cm
氏 名		
生年月日 昭和・平成 年 月 日（満 歳）		
出身都道府県		
ふりがな	携帯電話番号	※平日日中に連絡の取れるもの
現住所（〒 — ）	メールアドレス	
ふりがな	電 話	※現住所と同じ場合は、緊急連絡先として上記携帯電話番号以外を記入する
帰省先（〒 — ）		

2 家族構成（本人を除く）

氏 名	続柄	年齢	同居・別居の別	職 業	備 考

3

最終学歴	中 学 校 高 等 学 校 大 学 科 学 部 学 科 年 月 卒 業 中 退	
区分	年 月 ～ 年 月	会社名・研修先・資格・免許等
職歴	～ 現在	
	農業法人等への勤務歴 ☐ あり ☐ なし	
農業研修等	～	
資格・免許		

△

家族の同意	1. 作業に協力意向 2. 就農に賛成 3. 就農に反対 4. その他（ ）
就農後の労働力	人数 人 （ 本人 、 、 ） ※続柄を記入
自己資金	1. 未検討 2. 具体的な額（ 百万円）
借入金の有無	☐ あり ☐ なし ※概ね総額50万円以上の場合に記載
農地の保有	☐ 自己所有あり ☐ 賃借あり ☐ 相続見込みあり ☐ なし 〔 ありの場合は面積・所在地・地目等を記入 〕
機械・施設の保有	☐ 自己所有あり ☐ 賃借あり ☐ 相続見込みあり ☐ なし 〔 ありの場合は具体的に記入 〕

※該当するチェックボックスに☑を入れること。

5 体験研修についての検討状況

(1) 研修希望地及び品目

市町村名 () 品目 ()

※品目：トマト、もも等、研修生の受入見込一覧表に記載されている品目を記入

個別相談、受入産地等の訪問について

①個別相談 ※管轄の県民局 担当者又は市町 村担当者の実施 すること	日付： 年 月 日 場所： 対応者：所属 氏名 日付： 年 月 日 場所： 対応者：所属 氏名
②受入産地 訪問 ※管轄の県民局 担当者又は市町 村担当者等と実 施すること	日付： 年 月 日 場所： 対応者：所属 氏名 日付： 年 月 日 場所： 対応者：所属 氏名

※ 原則、①、②ともに実施してから申請すること

※ 直近2回について記入

(2) 研修希望時期

・第1希望： 年 月～ 年 月のうち1か月

・第2希望： 年 月～ 年 月のうち1か月

※研修期間は1か月程度とする

※研修時期は面接等で受入産地と調整の上決定します

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

品目： _____
規模： _____ a
所得： _____ 万円

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

(別紙 2 - 1)

健康診断書

住 所	〒		
氏 名		生年 月 日	昭和・平成 年 月 日 (歳)
身 長	・ cm	X 線 (胸 部)	間接撮影・直接撮影 所見
体 重	・ kg		
腹 囲	・ cm		
視 力	左 ・ (・) 右 ・ (・)	既往歴	
聴 力	左 右	自覚症状	
血 圧	/ mmHg	他覚症状	
医師の 所 見			

上記のとおり診断します。

年 月 日

病 院 名

医 師

印

【特記事項】

- 健康診断に記載された情報は、岡山県が実施する新規就農研修（農業体験研修、農業実務研修）の選考等に使用するもので、それ以外の目的に使用するものではありません。
- 申請日から起算して最近 1 年以内に健康診断（人間ドック等を含む）を受診している場合は、その診断結果の写しを提出することで代用することができる（一部の項目が一致していなくても可とする）。

重 要

岡山県新規就農研修(農業体験研修・農業実務研修)に係る注意事項確認書

新規就農研修を希望される方は、以下の注意事項を必ずお読みいただき、ご確認ください。
同意する場合は確認欄にチェックを記入し、署名、捺印の上、新規就農研修申請書とともに提出してください。

確認	1 研修の前提
☐	新規就農研修は、地域農業の担い手を育成するために新規就農希望者の独立・自営就農を支援する研修制度です。 就農に向けた支援を受けるためには、地域農業の新たな担い手として地域に認められることが必要です。
☐	新規就農研修は、研修受入地域の担い手となる方を支援する制度ですので、農業体験研修を実施した地域で農業実務研修を実施し、同じ地域で新規就農することが前提となります。 就農地または品目を変更する場合には、もう一度新しい産地で農業体験研修から実施することが必要になります。
☐	原則、過去に就農を支援するための研修事業（国の就農準備資金、雇用就農資金、本県の農業実務研修など。自治体が行う短期の体験研修などは除く）の対象になったことのある方は、対象外となります。 （自身が対象かわからない場合は、事前に問い合わせてください）
確認	2 農業体験研修から農業実務研修への移行について
☐	農業体験研修は、皆さん自身がその地域で農業を職業としていけるかどうかを判断するための研修であるとともに、受入地域の方々も皆さんが地域農業の担い手になれるかどうかを見極める期間です。 農業体験研修修了後、農業実務研修へはエスカレーター式に進むのではなく、皆さんと地域の合意ができた場合にのみ、進むことができます。
確認	3 農業実務研修に向けての手続
☐	農業実務研修を実施するには、研修前に研修計画の策定が必要となります。研修計画は、就農までのスケジュールに加え、就農5年目までの営農収支計画を作成する内容となっています。 研修計画は立てられてはいくつかの点で、農業実務研修の内容や農地の確保等について、受入地域と話し合い、実現性の高い計画を作成することが重要です。
確認	4 農業実務研修中の研修費について
☐	農業実務研修の研修費については、50歳未満で独立・自営就農する者については国の新規就農者育成総合対策事業（就農準備資金）で給付し、それ以外の方は、県、市町村及び研修実施主体が負担して支給します。研修生が選択することはできません。

確認	5 農業実務研修中の注意事項
☐	皆さんは、自らが経営主となり農業をすることを希望されて研修に応募された方々であり、新規就農研修制度も独立・自営就農者を育成するための研修制度となっています。このため、研修中も関係者は皆さんを経営主となる者として扱い、手取り足取り全てを教えるようとはしません。与えられた研修をするだけではなく、自ら研修をしていく姿勢が大切です。
☐	農業実務研修は、県、市町村、農協や地元農家が研修費の負担や研修に係る調整、事務手続き等を行っているからこそできるということを忘れないようにしてください。
☐	研修中は、研修指導者の指示に従ってください。また、研修日誌は毎日記載し、定期的に受入農家、研修の事業主体、農業普及指導センターの確認を受けてください。
☐	研修中には就農後の準備をすることでも大切です。農地や施設、機械の確保には産地が輪廻体制を作っている場合もありますが、産地ができるのは基本的には情報提供までだと思います。研修修了後に持ち主と話をして契約をするのは皆さんですので、経営主となる自覚を持ち、積極的に活動してください。 研修生だから周りが全て段取りをしてくれろという感覚ではうまくいくことはありません。
確認	6 就農準備資金事業についての注意事項
☐	就農準備資金事業を研修費として受給する場合は、世帯全体の所得を証明する書類の提出が必要です。 （世帯全体の所得が600万円を超える場合は、原則、就農準備資金事業の対象にはなりません）
☐	次の場合は、就農準備資金事業の研修費を全額返還することとなります。 ①適切な研修を行っていない場合又は虚偽の申請を行った場合 ②研修修了後1年以内に独立・自営就農又は雇用就農できなかった場合 ③受給期間の1.5倍若しくは2年間のいずれか長い期間、独立・自営就農又は、雇用就農を継続しない場合 ④就農後5年以内に青年等就農計画などの認定を受けなかった場合
☐	就農後の経営開始資金事業を受給する場合は、地域計画（農業経営基盤強化促進法第19条に規定されるもの）に位置付けられていない、青年等就農計画が認定されていない等の要件を満たさない場合は交付されません。
☐	就農準備資金事業及び経営開始資金事業については国の制度であるため、条件等が変更となることがあります。
確認	7 就農後の経営状況調査について
☐	研修の業績確認や今後の新規就農関連連事業の円滑な推進を図るため、経営状況等について、就農後5年目まで、報告を求めることがあります。
	上記の「岡山県新規就農研修（農業体験研修・農業実務研修）に係る注意事項」の内容について、確認し、同意します。 年 月 日 氏 名 (印)

「情報収集」は、農業を始めるための大切な一歩です。

ポータルサイトで、岡山県就農情報をチェック！！

相談会の開催情報や、研修制度の概要などを、ポータルサイトに掲載しています。



岡山県 担い手

検索

検索、または
二次元バーコードから
アクセス。



<https://www.okayama-ninaite.com>

イベント開催通知専用の「LINE公式アカウント」

就農イベントや各種研修の募集開始などをお知らせしていくので、通知を受けたい方は、「友だち追加」してください。

(※ポータルサイトに情報を掲載したことをお知らせ)



ポータルサイト トップページへのリンク
または
二次元バーコードから 登録ページへ



自然に恵まれた岡山は、多彩な実りを産出する農業県です。

中国地方の東南部に位置する岡山県は、北に雄大な中国山地を配し、中央部には清々しい高原が点在。そして南は瀬戸内海に面し、古来よりその変化に富んだ自然環境と温暖な気候を生かして、多彩な特産物や文化を生みだしてきました。意欲ある皆さま方のチャレンジをサポートします。



岡山までのおよその所要時間

〈新幹線〉

東 京から3時間10分
名古屋から1時間40分
新大阪から 45分
広 島から 40分
博 多から1時間40分

〈飛行機〉

札 幌から1時間50分
東 京から1時間10分
那 覇から2時間

就農を思い立ったらまずはご相談ください！

新規就農相談窓口

公益財団法人
岡山県農林漁業担い手育成財団 TEL (086) 226-7423
〒703-8278 岡山市中区古京町1-7-36

岡山県立青少年農林文化センター
三徳園（農業経営・就農支援センター） TEL (086) 297-2016
〒709-0614 岡山市東区竹原505

受付時間：平日9:00～17:00 ※休日に実施する相談会等は下記ホームページにてご確認ください。
担当者が不在の場合もありますので、面談を希望の方は必ず事前に電話にてお問い合わせください。

岡山県農林水産部農産課

TEL (086) 226-7420 〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

一般社団法人 岡山県農業会議

TEL (086) 234-1093 〒700-0826 岡山市北区磨屋町9-18

岡山県農業協同組合中央会

TEL (086) 230-5022 〒700-0826 岡山市北区磨屋町9-18

県内各地域の就農相談窓口

各地域の詳しい内容や、現地訪問のお問い合わせはこちらへ

地域	農業普及指導センター	所管市町村
岡山	備前広域農業普及指導センター (086) 233-9848 〒700-8604 岡山市北区弓之町6-1	岡山市、玉野市、 瀬戸内市、吉備中央町
東備	東備農業普及指導センター (086) 92-5176 〒709-0492 和気町和気487-2	備前市、赤磐市、和気町
倉敷	備南広域農業普及指導センター (086) 434-7048 〒710-8530 倉敷市羽島1083	倉敷市、総社市、早島町
井立	井笠農業普及指導センター (0865) 69-1652 〒714-8502 笠岡市六番町2-5	笠岡市、井原市、浅口市、 里庄町、矢掛町

地域	農業普及指導センター	所管市町村
高梁	備北広域農業普及指導センター (0866) 21-2851 〒716-8585 高梁市落合町近似286-1	高梁市
新見	新見農業普及指導センター (0867) 72-9177 〒718-8550 新見市高尾2400	新見市
津山	美作広域農業普及指導センター (0868) 23-1524 〒708-8506 津山市山下53	津山市、鏡野町、 久米南町、美咲町
真庭	真庭農業普及指導センター (0867) 44-7582 〒717-8501 真庭市勝山591	真庭市、新庄村
勝英	勝英農業普及指導センター (0868) 73-4067 〒707-8585 美作市入田291-2	美作市、勝央町、奈義町、 西粟倉村

R7. 8 現在

ホームページで就農情報を確認！

岡山県担い手育成総合支援協議会HP「晴れの国おかやまで農業をやってみませんか？」に岡山県の就農情報を掲載しています。

<https://www.okayama-ninaite.com/>

岡山県 担い手

検索

